鉄筋コンクリート構造配筋標準図　その1

§1　一般事項

1－1 基礎

杭基礎　PC 450φ　A種
Ra = 35.0 T/本　l = 15m

1－2 コンクリート

28 FC = 180 kg/cm²

1－3 鉄筋

SD30　D16・D19・D22・D25
SR24　9φ・13φ

1－4 その他

D10・D13とあるは，9φ・13φと各々，読みかえる事。

設計図書に記載なき場合，本標準図に従うものとする。

§2　共通事項

2－1 鉄筋の表示記号

鉄筋の断面表示は下表の記号による。

記号								
丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32

- 異形鉄筋の継手表示
- フックがある場合
- 鉄筋本数に差がある場合
- 溶接継手表示

多い　少ない

2－2 鉄筋の折曲げ

位置	曲げ角度	使用箇所	折り曲げ図	鉄筋の種別	内法直径(D)
末端部	180°	柱，梁の13mm以上の主筋及び16mm以上の鉄筋	4d以上	SR 24	3d以上
				SD 30 SD 35	4d以上
		フープ スターラップ	8d以上	SR 24	3d以上
				SD 30 SD 35	4d以上
	135°	13mm以下のフープ スターラップ	6d以上	SR 24	3d以上
				SD 30 SD 35	4d以上
	90°	上記以外の13mm以下の鉄筋	4d以上	SR 24	3d以上
				SD 30 SD 35	4d以上
		スターラップ	8d以上	SR 24	3d以上
				SD 30 SD 35	4d以上
中間部	90°以下	i) フープ スターラップ		SR 24	3d以上
				SD 30 SD 35	4d以上
		ii) スラブ，壁筋		SR 24 SD30, 35 16mm以下	5d以上
				SR 24 SD30, 35 19mm以上	iii)による
		iii)，i)，ii)以外の鉄筋，梁の主筋		SR 24 28φ以下 SD30, 35 D25以下	6d以上
				SR 24 32φ以下 SD30, 35 D29～D41	8d以上

d：鉄筋の公称直径

2－3 鉄筋の継手及び定着長さ

鉄筋の種別	フック	応力	コンクリート強度 (kg/cm²) FC 180	FC 210	FC 240
SR24	あり	S_1	40d	35d	30d
		S_2	25d (30d)	25d (30d)	25d (30d)
SD30	なし	S_1	45d	40d	35d
		S_2	30d (35d)	30d (35d)	30d (35d)
	あり	S_1	30d	25d	25d
		S_2	20d (25d)	20d (25d)	20d (25d)
SD35	なし	S_1	50d	45d	40d
		S_2	35d (40d)	35d (40d)	35d (40d)
	あり	S_1	35d	30d	25d (30d)
		S_2	25d (30d)	25d (30d)	25d (30d)

- (　)内は軽量コンクリート使用の場合
- S_1は応力の大きな引張鉄筋の場合
- S_2は異形鉄筋の割裂のおそれのない部分への定着と圧縮鉄筋(または応力の小さな引張鉄筋)の場合
- 鉄筋径が異なる場合は，小さい方による。

継手　S_1又はS_2

定着　S_1又はS_2

2－4 鉄筋の最小被り厚さ

構造部分の種別 ＼ コンクリートの種別		普通コンクリート	軽量コンクリート
土に接しない部分	床版	20	20
	柱，梁，壁	30	30
土に接する部分	柱，梁，壁	40	50
	基礎，擁壁	60	70
煙突など高熱をうける部分		50	50

打放し仕上げに対しては，10mm以上増打すること

主筋の被り厚さ　被り厚さ

2－5 鉄筋間の間隔

- 鉄筋と鉄筋のあき a は原則として下記の寸法以上とする。

丸鋼　$a \geq 1.5d$
異形鉄筋　$a \geq 1.7d$
かつ25mm以上

- 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。

$a \geq 400$

止むを得ない場合

$d' \geq 1.4d$
$e \leq 0.2d$(芯ずれ)

2－6 鉄筋のフック

- 丸鋼の末端部には必ずフックを付ける。
- 異形鉄筋の末端部には下記の場合にフックを付ける。
  1) 柱主筋の隅筋，最上階柱頭鉄筋全てとそれに準ずる個所
  2) 梁主筋の出隅(地中梁を除く)及び，片持梁上端筋の先端
  3) 杭，ピア基礎主筋の末端部
  4) 煙突の主筋

フックを付ける　柱　梁

§3　柱

3－1 主筋の継手

溶接継手　重ね継手

500以上　フックを付ける

- 400以上印内に継手中心部を設けることとする。
- 柱継手は溶接継手を原則とする。

3－2 主筋の定着

柱頭には全てフックを付ける

400以上　15d

柱径が異なる場合

フックを付ける

$e/D \leq 1/8$　$1/8 < e/D \leq 1/5$　$1/5 < e/D$

3－3 フープ

- フープの割付けは第1フープより始める。
- 第1フープは13φ筋以上にて梁面に入れる。
- フープ径及びピッチは設計図による。
- フープの加工は下図による。

第1フープ　交互配列　6d以上

フープを溶接する場合　片面溶接

(スターラップも之に同じ)

3－4 補助筋

- 補助筋は9φ筋にてピッチを600以内で割付ける。

丸鋼　$a = 1.5d$
異形筋　$a = 1.7d$
かつ25mm以上 (4-4項も之に同じ)

§4　梁

4－1 主筋の継手

出隅主筋にはフックを付ける

- 400以上印内に継手中心部を設けることとし，溶接継手の場合も同様とする。(4-5，6項も之に同じ)
- ~~上記指示範囲外で継ぐ場合は継手長さを S_T とする。~~

4－2 主筋の定着

釣上げ筋

$e/\ell \leq 1/8$　$1/8 < e/\ell$

梁成が異なる場合

$e/D \leq 1/8$　$1/8 < e/D$

- 梁主筋は原則として通し筋とする。但し最上階は半数以上を柱定着とする。

4－3 スターラップ

第1スターラップ

- スターラップの割付は第1スターラップより始める。
- 第1スターラップは13φ筋以上にて柱面に入れる。
- スターラップ径及びピッチは設計図による。
- スターラップの加工は下図による。

交互配列　スターラップ毎に入れる

一般梁　巾中梁

4－4 補助筋

腹筋	D < 600	不要
	600 ≦ D < 900	2-D10
	900 ≦ D < 1,200	4-D10
	1,200 ≦ D	D13にて500以内
	(備考) 柱への定着は15dとする	
巾止筋	9φ@600以内で割り付ける	
受筋 釣筋	9φ@600以内で割り付ける	

釣筋　巾止筋　腹筋　受筋

設計番号	設計名称	堺大阪市(仮称)心身障害児童福祉総合センター設計図		
図名	構造標準図 (その1)	縮尺 1/	区分	図面番号 C/1

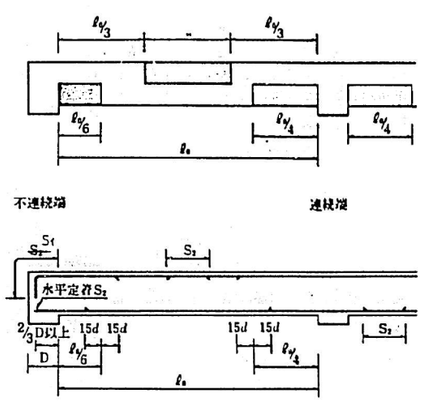
共同設計株式會社

◆本社 大阪市北区西天満2丁目10-14　TEL 06(361)5834㈹
◆分室 大阪市北区天満2丁目10-14 田中ビル7F TEL 06(311)1149
◆東京事務所 東京都港区虎ノ門1丁目10-1(八千代ビル) 03(407)0912

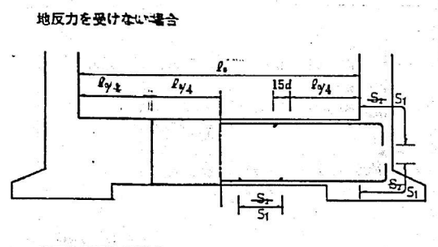
関西建築構造設計事務所協会 7412-RCA21

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　その2

4－5 小梁及び片持梁

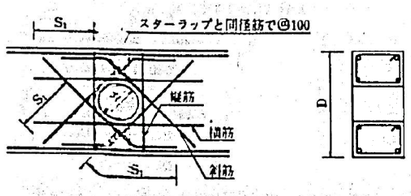


4－6 地中梁



- 特記なき限り地中梁は大梁の項に，地中小梁は小梁の項に準ずるものとする。
  ただし地反力を受ける地中小梁，片持梁の継手位置定着は，4-5項の上筋を下筋，下筋を上筋と読みかえる。

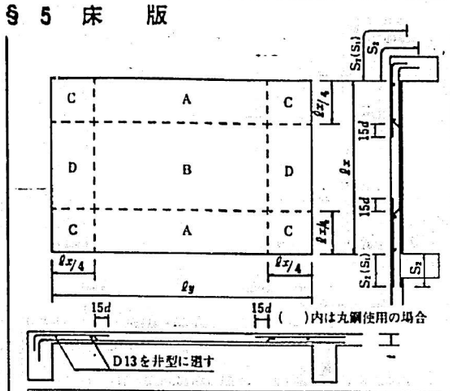
4－7 梁の貫通補強



- 梁貫通孔は原則として，梁成の1/4以下かつ連続する場合，その中心間隔は孔径(φ)の3倍以上とする。また孔の位置はスパン(ℓ_n)中央部での$\ell_n/2$範囲内で，梁成の中央とする。
- φが100以下のとき補強を必要としない。
- 図面に特記なき限り，φが150以下かつ梁成の1/4以下のとき補強筋は縦筋，横筋，斜筋共2-D13とする。

§5 床版

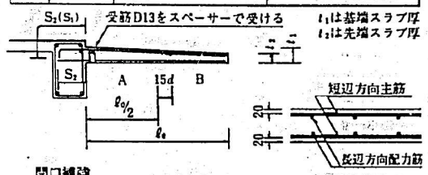
5－1 鉄筋の折曲げ及び定着



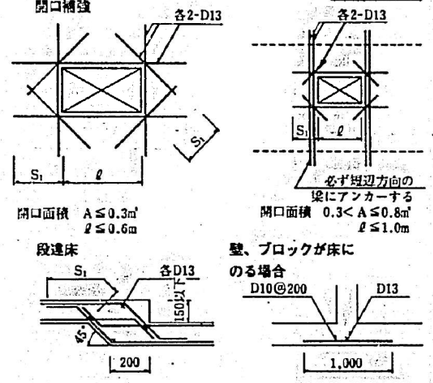
5－2 継手

		標準継手位置(S_2)	止むを得ない場合(S_1)
上筋	短辺方向	B，D	A，C
	長辺方向	A，B	C，D
下筋	両方向共	A，C，D	B

5－3 片持床

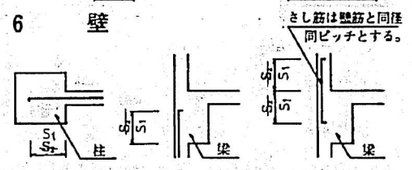


5－4 補強筋



§6 壁

6－1 定着及び継手



- 定着及び継手長さはS_2とする。但し土圧を受ける壁の継手長さはS_1とする。(丸鋼使用の場合は全てS_1とする)
- 継手は隅角部をさけること。

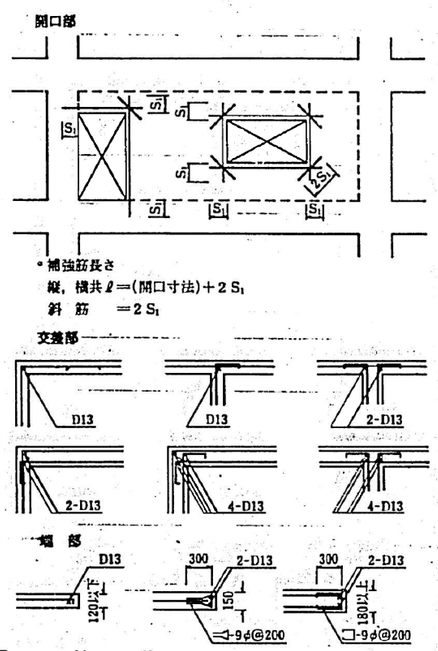
6－2 標準壁リスト

特記なき壁の配筋は下記による

符号	壁厚	縦筋，横筋 (S)：シングル，(D)：ダブル	開口部補強筋 縦，横，斜筋共
W	100	D10 @ 200 (S)	1－D13
W	120	D10 @ 200 (S)	1－D13
W	150	D10 D13 @ 200 (S)	2－D13
W	180	D10 @ 200 (D)	4－D13
W	200	D10 @ 200 (D)	4－D13
W	250	D10 D13 @ 200 (D)	2－D16
W	300	D10 D13 @ 200 (D)	2－D16
CB	100	D10 @ 400 (S)	——
CB	150	D10 @ 400 (S)	——

- ダブル配筋においては巾止筋縦横共9φ@1,000とする。

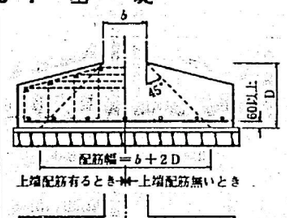
6－3 補強



- 補強筋長さ
  縦，横共ℓ＝(開口寸法)＋2S_1
  斜筋　＝2S_1

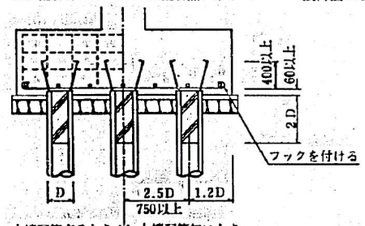
§7 基礎

7－1 独立基礎



- 基礎スラブ主筋は配筋幅間に配置する。
- 主筋及び上端配筋は設計図による。

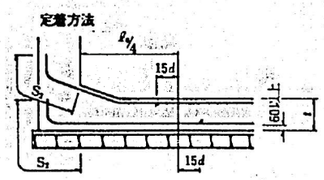
7－2 杭基礎



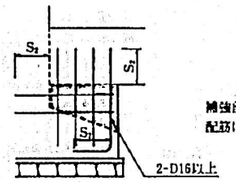
7－3 ベタ基礎

継手位置（区分図は5-1項参照）

		標準継手位置(S_2)	止むを得ない場合(S_1)
上筋	両方向	A，C，D	B
下筋	短辺方向	B，D	A，C
	長辺方向	A，B	C，D

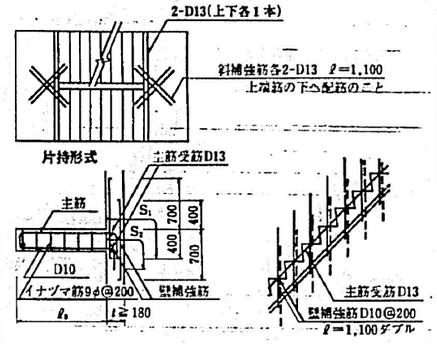


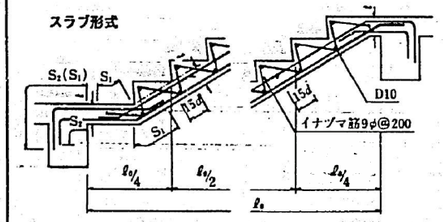
7－4 基礎と地中梁



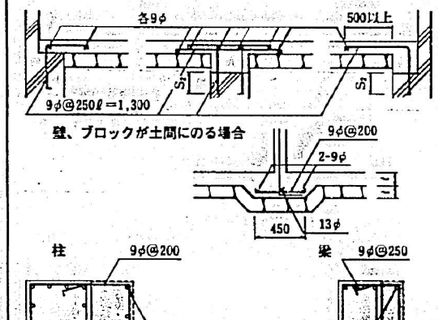
§8 その他

8－1 隅段

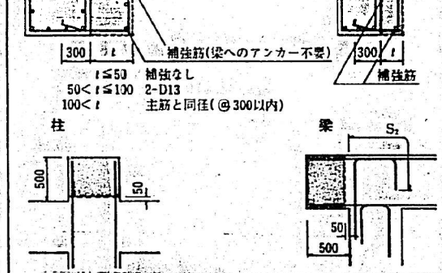




8－2 土間コンクリート

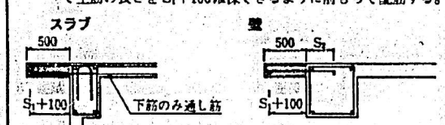


8－3 増打補強



8－4 増築予定

- ■印は斫り部分を示す。
- 原則として主筋は圧接する。圧接できないときは斫り部分内で主筋の長さをS_1＋100確保できるように前もって配筋する。



S_1＋100とれない場合は水平アンカーする。

設計番号	設計者 東大阪市(仮称)心身障害児童福祉施設新築工事 設計図		
図名 構造標準図（その2）	縮尺 1/	区分	図面番号 C/2

共同設計株式會社
●本社 大阪市北区西天満5丁目10-14 TEL.06(364)5838㊗
●分室 大阪市北区西天満5丁目11-7 田中ビル TEL.06(312)4149
●東京事務所 東京都新宿区横寺1丁目10-1(八千代ビル) 03(407)0912

301
401

共通事項

記号

丸鋼ハ00φ　異形鉄筋ハD-00（φ16φ　D16）ヲ表ワス

鉄筋ノ径ハdトスル

設計図書ニ特記ノナイ場合、全テ本規準ニヨルモノトシ、本規準ニナイ場合ハ監督ノ指示ニヨル

鉄筋ノ断面長示記号						
普通	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ
異形	D 10	D 13	D 16	D 19	D 22	D 25
記号	—	×	○	●	⊖	⊕

定着及ビ継手部用長サ

鉄筋・種別			フック長	S1	S2
				引張鉄筋	圧縮鉄筋
普通コンクリート Fc=180	普通	SR24	丸	40d	25d
	異形	SD30	丸	30d	20d
			太	45d	30d

カブリ厚サ

床・版・壁		20 mm 以上
耐力壁		20 〃
柱・梁		30 〃
土ニ接スル部分	壁	40 〃
	柱・梁	40 〃
	基礎	60 〃

異形鉄筋ノフックノ要否

異形鉄筋デフックヲ設ケル箇所ハ下記ニヨル。

- ○柱、出隅ノ鉄筋　柱ノ末端（柱脚ヲ除ク）
- ○梁（基礎梁ヲ除ク）出隅ノ鉄筋
- ○梁ノ下端筋デ山ノ部分ニ設ケル定着　鉄筋部分。

但シ地中梁ハ除ク

下図ニヨル以外ノ鉄筋ノ鉄筋ハフックヲ設ケル。

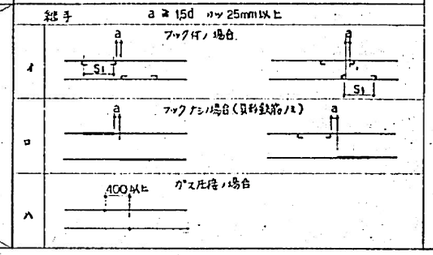
柱出隅ノ鉄筋。

梁ノ出隅ノ鉄筋。
片ネニスラブノ付ク場合

梁ノ出隅ノ鉄筋
両ネニスラブノ付ク場合。

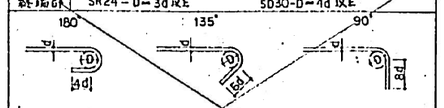
継手

a ≧ 15d ハツ 25mm以上

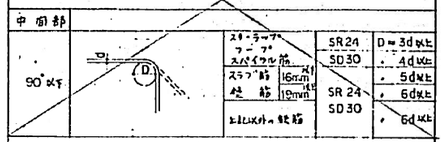


折曲ゲ基準

鉄端部	SR24 − D=3d以上	SD30 − D=4d以上

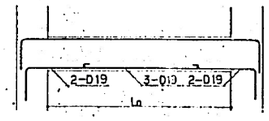


中間部

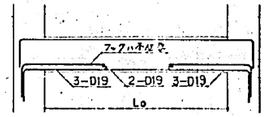


スターラップ、フープ、スパイラル筋	SR24	D=3d以上
	SD30	〃 4d以上
スラブ筋 16mm以下		〃 5d以上
柱筋 19mm以下	SR24 SD30	〃 6d以上
上記以外ノ鉄筋		〃 6d以上

○ 梁ノ下端筋デフックヲ設ケル例1



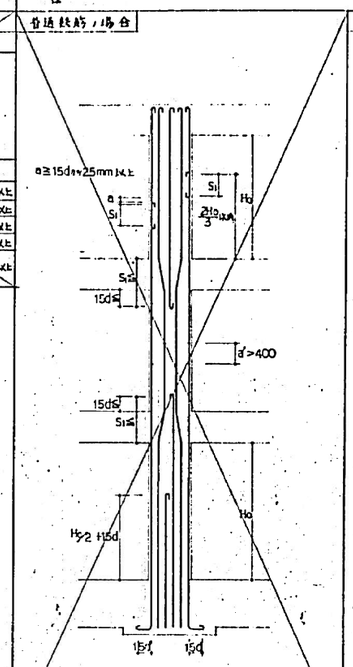
○ 梁ノ下端筋デフックヲ設ケル例2



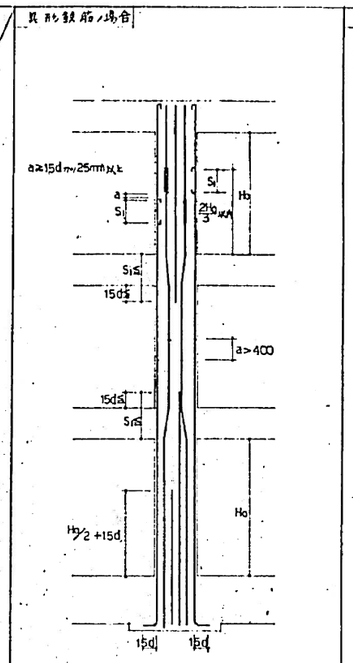
注記　下端筋デモ2段目ハフックヲ設ケテクダサイ。

柱

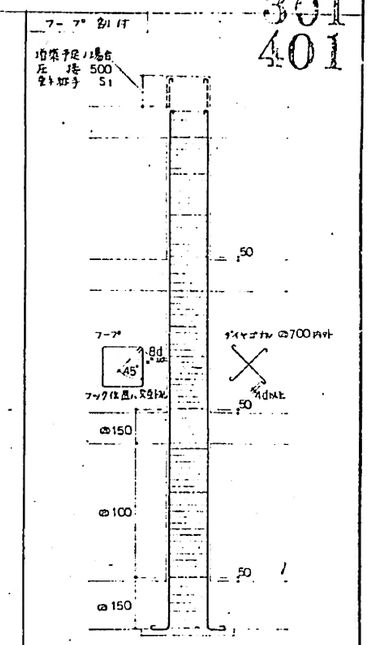
普通鉄筋ノ場合



異形鉄筋ノ場合

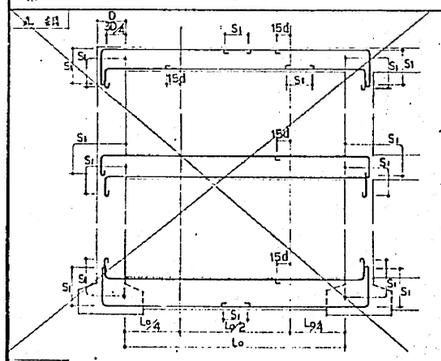


フープ割付



梁

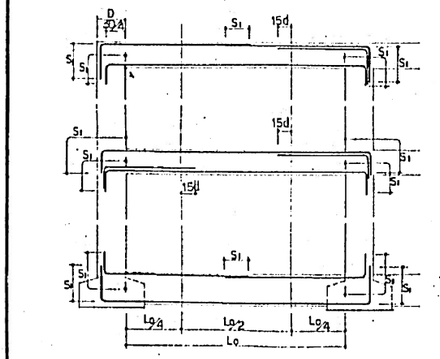
丸鋼



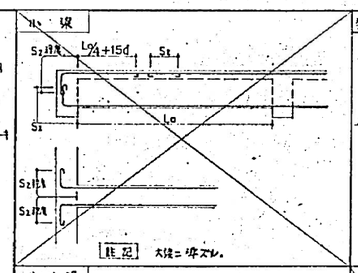
注記

- ○引通シ鉄筋以外ハ梁側トシテ柱内ニ定着スルコト。
- ○継手中心位置ハ上端筋中央1/2ヵ所
- 下端筋1/4ヵ所
- ○継手中心位置ガ上記以外ニカルトキハS2ヲS1トスル。

異形鉄筋

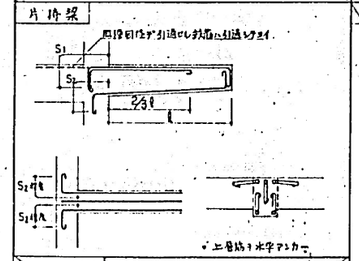


小梁

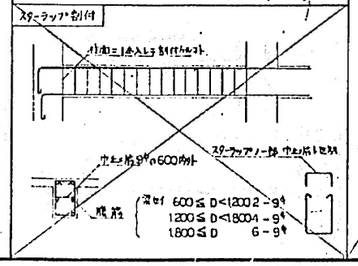


注記　大径ニ揃ズル。

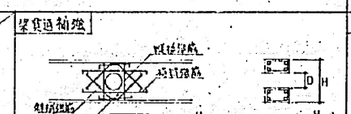
片持梁



スターラップ割付



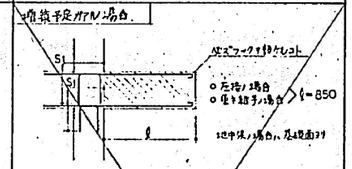
梁貫通補強



注記　D<H/4ニシテ、位置ハ梁代中央部H/3ノ範囲内ニ設ケル。コノ外ノ時ハ特殊ニヨル。

開口部	縦筋	横筋	斜筋
50≦D<100	2−13φ	2−D16	2−13φ
100≦D<150	〃	2−D19	〃
150≦D<200	〃	〃	2−D16
200≦D	4−13φ	〃	2−D19

増築予定ガアル場合



注記

- ○増築ガ白ヒ部分ノ梁主筋ハ増築ノ梁マデ延長スルコトヲ
- ダボ柱ニアンカースルコト。
- ○上図ハッチ部ハ無色コンクリート ヌハラスモルタルトシ
- 現場ノ状況ニ応ジテ施工スル。
- ○地下ノ場合ハ、普通コンクリート 但シ鉄筋ニテープ色
- 塗リヲスル。

壁

壁配筋、開口補強筋

特記ナキ限リ下記ノ通リ

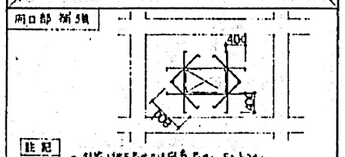
壁厚	縦筋、横筋	開口部補強筋 縦筋	横筋	斜筋
W1 @120	9φ@250 S	1−13φ	1−13φ	1−13φ
W2 @120	9φ@200 S	〃	〃	〃
W3 @120	9φ@200 W	2−13φ	2−13φ	2−13φ
W4 @150	9φ@200 S	1−13φ	1−13φ	1−13φ

耐震壁、開口補強筋

学校4階用 階	壁厚	開口部補強筋 縦筋	横筋	斜筋
4階	@120	1−13	1−13	1−13
3階	@120	〃	〃	〃
2階	@120	2−13	2−13	2−13
1階	@120	〃	〃	〃

学校3階用 階	壁厚	開口部補強筋 縦筋	横筋	斜筋
4階	@120	1−13	1−13	1−13
2階	@120	〃	〃	〃
1階	@120	2−13	2−13	2−13

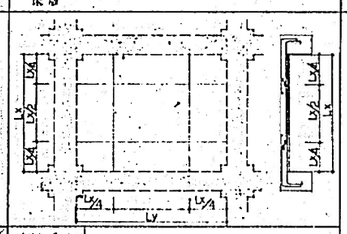
開口部補強



注記

- ○鉄筋ノ継手ガ出来ナイ場合ハ、S1トスル。
- ○開口部補強筋ガハ主筋ノ継手長サハS1トスル。
- ○中ヒダ筋ハ、ナナヨコ式ノ場合ニ限リ1−9φ ⊓ 設ケル。

床版

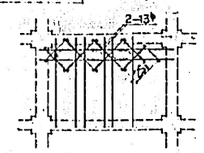


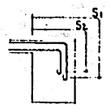
継手長サ

	短辺 端部	短辺 中央	長辺 端部	長辺 中央
上筋	S1	S2	S1	S2
下筋	S2	S1	S2	S1

注記　原則トシテ、S1部分デ継手ハ設ケナイコト。

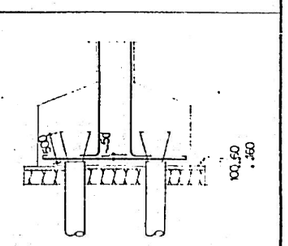
開口部補強



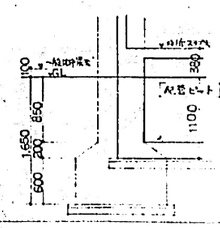


注記　補強筋ハ梁マデ伸ビアンカースルコト。
定着長サハ、スラブ筋ニ準ズル。

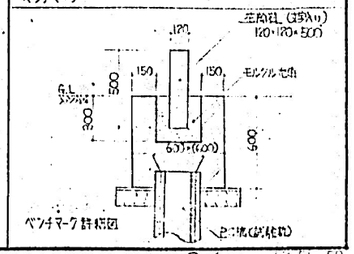
基礎



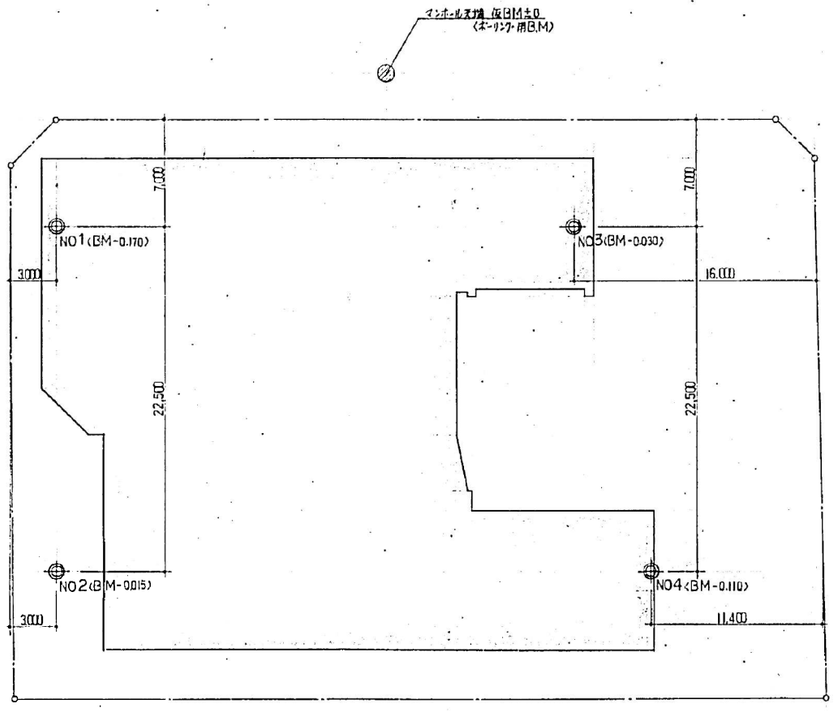
杭打設工法、コンクリートヲ破リ鉄筋ヲ伸ビテスタント



ベンチマーク



ベンチマーク詳細図



N

ボーリング配置図 1/200

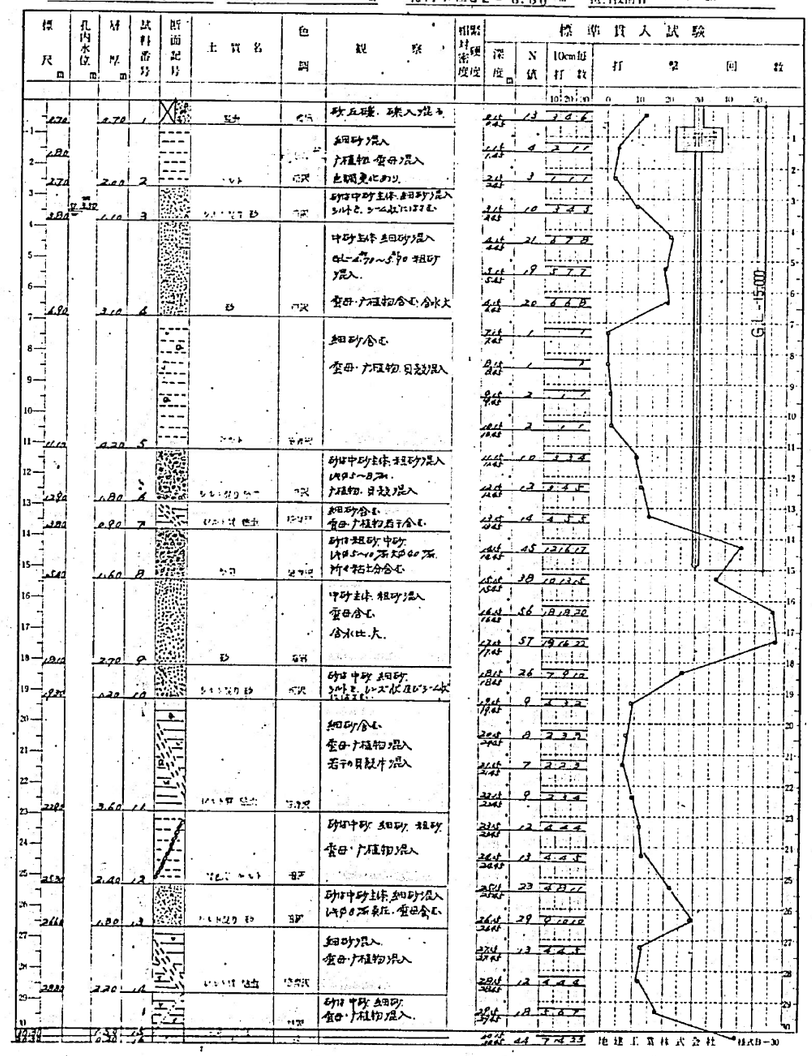
土質柱状断面図　速報

東大阪市（仮称）精神薄弱児（こばと園）
工事名　肢体不自由児（つばめ園）通園施設新築工事

調査地名　東大阪市高井田中1丁目37番地

調査年月日　昭和53年4月5日～昭和53年4月10日

試錐番号 No. 1　標高　m　孔口水位 GL－3.50 m　担当技術者 鈴木敏一



設計番号　設計名 東大阪市(仮称)精神薄弱児通園施設新築工事設計図
題名 土質柱状図 (1)　縮尺 1/y　図No. C/4
共同設計株式会社
[redacted]

土質柱状断面図

速　報

東大阪市（仮称）精神障害児（ことばと聴）
工事名　肢体不自由児（つばめ園）通園施設新築工事

調査地名　東大阪市高井田中1丁目37番地
調査年月日　昭和63年4月10日～昭和63年4月12日

試錐番号 No. 2　標高　m　孔内水位 GL－2.10 m　担当技術者　鈴木敏一

標尺 m	孔内水位 m	層厚 m	試料番号	断面記号	主質名	色調	観察	相対硬軟密度	深度 m	N値	10cm毎打数	打撃回数
0.80		0.80	1		盛土	黒褐	アス殻		0.65	8	2 2 2	
	2.12						砂は細砂中砂		1.15	5	1 2 2	
2.90		2.00	3				貝殻片混入		2.15	3	1 1 1	
3.10		0.20			シルト	暗黒灰	中砂は粗砂・細砂・中砂混入		3.15	8	2 3 3	
3.80		0.70	4		シルト質粘土	暗灰	砂は細砂主体・中砂混入 貝殻・炭化物混入		4.15	26	7 9 10	
5.30		1.50	5		粘土	暗灰	中砂主体・粗砂混入 炭化物・貝殻混入 含水比大		5.15	20	8 7 5	
7.00		1.70	6		シルト質粘土	暗灰	砂は細砂中砂 貝殻・炭化物混入		6.15	15	4 5 6	
							粗細砂・貝殻・炭化物 貝殻片混入		7.15	1	1 1 1	
									8.15	2	1 1 1	
									9.15	2	1 1 1	
									10.15	1	1 1 1	
11.20		4.20	7		シルト	暗灰黒			11.15	1	1 1 1	
12.10		0.90	8		シルト質粘土	暗黒灰	砂は中砂主体 細砂少量		12.15	14	3 5 6	
12.60		0.50	9		シルト質粘土	暗黒灰	中砂混入		13.15	22	10 11 11	
							砂は粗砂主体・中砂混入 細砂2～8%大径40%.		14.15	10	3 4 3	
									15.15	45	13 16 18	
15.50		2.90	10		シルト	暗黒灰			16.15	51	18 16 17	
							中砂主体・粗砂混入 細砂10%有粘性. 色に(5.70m) 細砂混入		17.15	50	17 16 17	
									18.15	43	12 15 16	
									19.15	32	10 11 12	
19.30		3.80	11		粘土	暗黒灰	細砂混入 貝殻・炭化物 貝殻片混入		20.15	11	4 3 4	
20.50		1.20	12		シルト質粘土	暗黒灰			20.65	7	2 3 2	

GL－15.00m

地建工業株式会社　様式B－30

土質柱状断面図

速　報

東大阪市（仮称）精神障害児（ことばと聴）
工事名　肢体不自由児（つばめ園）通園施設新築工事

調査地名　東大阪市高井田中1丁目37番地
調査年月日　昭和63年4月10日～昭和63年4月12日

試錐番号 No. 3　標高　m　孔内水位 GL－1.30 m　担当技術者　鈴木敏一

標尺 m	孔内水位 m	層厚 m	試料番号	断面記号	主質名	色調	観察	相対硬軟密度	深度 m	N値	10cm毎打数	打撃回数
1.00		1.00	1		盛土	暗黒	シルト・砂 礫混入		0.65	10	3 5 3	
	1.30						砂は細砂 中砂 シルト含む 含水比大.		1.15	2	1 1 1	
2.60		1.60	2		シルト質粘土	暗黒灰			2.15	2	1 1 1	
3.70		1.10	3		シルト質粘土	暗黒灰	シルト粘土混入 砂は細砂 中砂		3.15	3	1 1 1	
4.80		1.10	4		粘土	暗黒灰	粗砂 中砂 細砂混入 含水比大		4.15	23	7 8 8	
5.60		0.80	5		有機土	暗黒灰	細砂 炭化物混入 含水比大		5.15	3	1 1 1	
6.40		0.80	6		粘土	暗黒灰	砂は中砂混入		6.15	5	2 2 1	
		0.50			粘土	暗黒灰	粗砂 有機土含む					
7.90		0.70	8		砂	灰	細砂 中砂 若干粗砂混入		7.15			
							若干 貝殻混入 粘性・大 含水比大		8.15			
									9.15	1	1	
									10.15	1	1 1	
12.00		4.00	9		シルト	暗黒灰			11.15	1	1 1 1	
							砂は1～20%.		12.15	4	1 3 4	
13.60		1.60	10		シルト質粘土	暗黒灰			13.15	26	7 10 9	
							砂は2～10%. 砂は粗砂主体・中砂混入		14.15	27	12 13 12	
									15.15	27	10 13 13	
17.30		2.80	11		粘土質粘土	暗黒灰			16.15	21	10 7 6	
							砂は1～5%～10%シルトを含む. 細砂 中砂混入.		17.15	24	12 12 12	
									18.15	30	12 15 15	
19.00		2.70	12		粘土	暗黒			19.15	27	12 7 10 12	
							細砂均質である		20.15	25	12 13 10	
20.40		1.40	13		粘土	暗黒灰			20.65	5	2 2 2	
21.30		0.90	14		シルト質	暗灰	貝殻含む. 粘性中 含水比小					

GL－15.00m

地建工業株式会社　様式B－30

設計番号	設計名 東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事		設計 図
図名 土質柱状図 (2)	縮尺 1/7	図番	図面番号 C/5
共同設計株式会社			

速報

土質柱状断面図

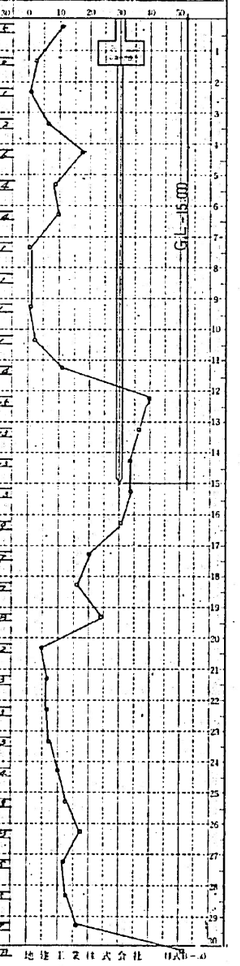
東大阪市（仮称）障害者更生センター（とばと園）
工事名　既存不明由来（つばめ荘）撤去跡地

調査地名　東大阪市長瀬井田中ノ丁目37番地
調査年月日　昭和63年4月7日～昭和63年4月10日

試錐番号 No. 4　標高　　m　孔内水位 GL－1.80m　担当技術者 鈴木 [illegible]

標尺 m	孔内水位 m	層厚 m	試料番号	断面記号	土質名	色調	観察	相対硬密度
1.00		0.80	1		表土	茶	粘土瓦礫、礫へ混ず	
2.00	2.30	1.00	2		シルト質粘土	暗灰	2.30～3.0 砂混り粘土 砂は中砂 粗砂 細砂含む	
2.70		0.90	3		ローム	暗灰	雲母含む、粘性大	
3.50		0.80	4		シルト質粘土	暗灰	砂は細砂 中砂 細砂は所々多量 含水比大	
4.90		1.40	5		砂	暗灰	中砂 粗砂 混入 含水比 中	
6.00		2.00	6		ローム	暗灰	雲母含む 6.00～6.80 暗褐色 含水比 中	
7.70		1.70	7				貝殻片若干含む 含水比 小	
8.00		0.30	8			暗灰	細砂は所々多く混じる	
8.60		0.60	9		木片	灰	微細砂若干含む 含水比小	
12.20			10			暗灰	砂は粗砂 中砂 礫φ8～10mm 含水比 小	
13.40		1.90	11		シルト質砂	灰	砂は粗砂 中砂 礫φ2～5mm 混入	
14.80		1.40	12		ローム	暗灰	雲母混入 砂細粒 含水比 小	
16.90		2.10	13		シルト質砂	暗灰	シルト 細砂 中々に混入 含水若干多い	
19.72		2.80	14		シルト	暗灰	貝殻 部分的に多量に含む 粘性大 含水比 中	
21.90		2.20	15		シルト質粘土	暗灰	砂は細砂 中砂 礫φ2～5mm 含水比 中 粘性 中	
23.70		1.80	16		砂	灰		
25.90		2.20	17		シルト質粘土	暗灰	微細砂若干含む 植物若干混入 含水比 小	
28.70		2.80	18		砂	灰	砂は細砂 中砂 植物混入	

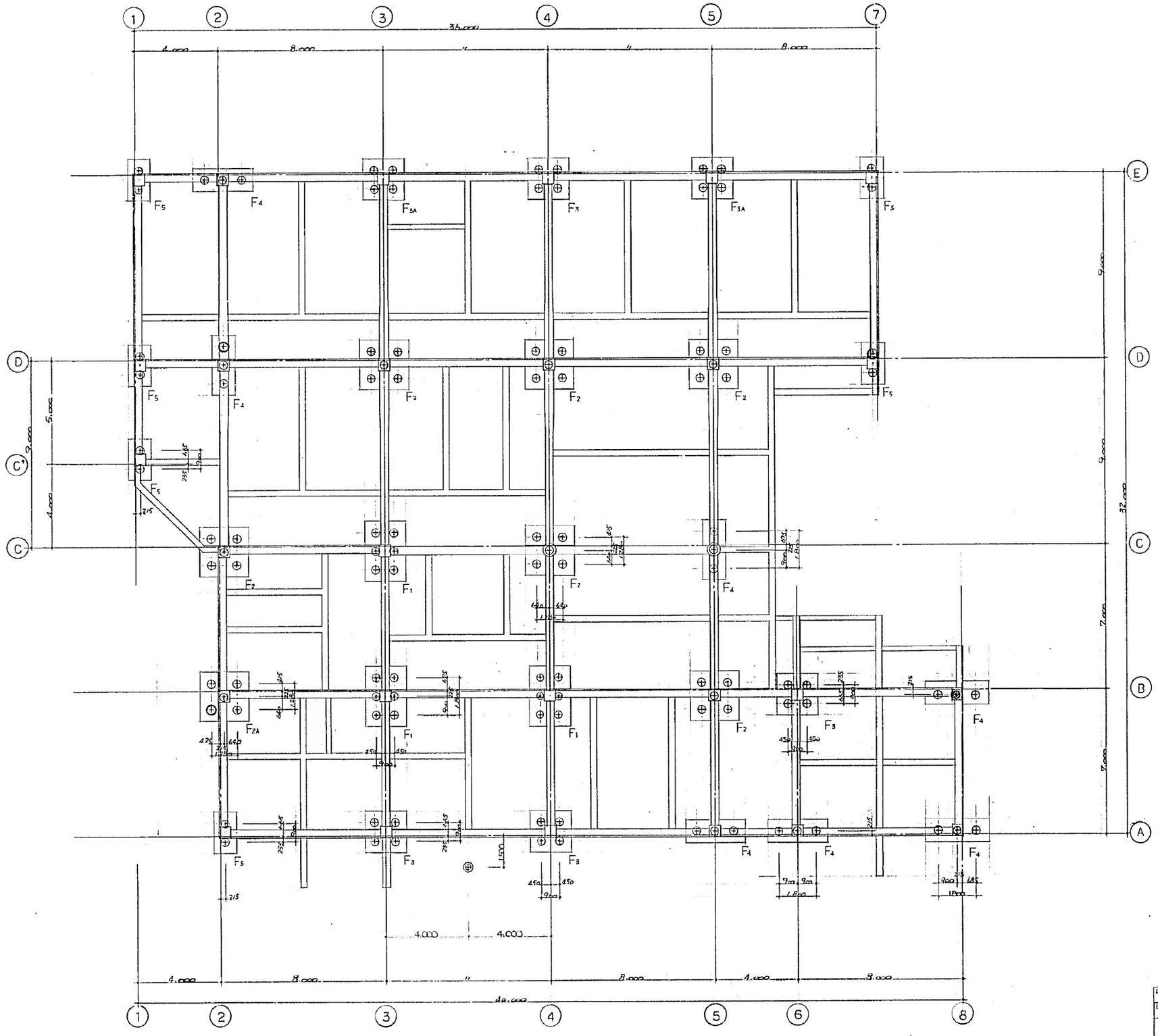
標準貫入試験 深度 m	N値	10cm毎打数	打撃回数
0.45～0.55	11	3 3 5	
1.45～1.55	3	1 1 2	
2.45～2.55	1	1 0 1	
3.45～3.55	7	2 2 3	
4.45～4.55	18	5 7 7	
5.45～5.55	9	2 3 4	
6.45～6.55	10	3 3 4	
7.45～7.55	1	1 0 1	
8.45～8.55	1	1 0 1	
9.45～9.55	1	1 0 1	
10.45～10.55	2	1 1 1	
11.45～11.55	11	3 4 4	
12.45～12.55	40	11 14 15	
13.45～13.55	37	11 13 13	
14.45～14.55	34	9 12 13	
15.45～15.55	14	10 1 1 3	
16.45～16.55	31	13 10 8	
17.45～17.55	20	4 7 7	
18.45～18.55	16	5 4 7	
19.45～19.55	24	7 7 10	
20.45～20.55	4	1 2 2	
21.45～21.55	7	2 3 3	
22.45～22.55	7	2 2 3	
23.45～23.55	8	2 3 3	
24.45～24.55	10	3 3 4	
25.45～25.55	13	4 4 5	
26.45～26.55	19	5 7 12	
27.45～27.55	12	3 4 5	
28.45～28.55	13	4 4 5	
29.45～29.55	16	5 6 7	



地建工業株式会社

設計番号	設計名 東大阪市(仮称)心身障害者更生センター建設設計業務委託		
図名 土質柱状図 (2)	縮尺 1/y	図(1)	図面番号 C/6

共同設計株式会社



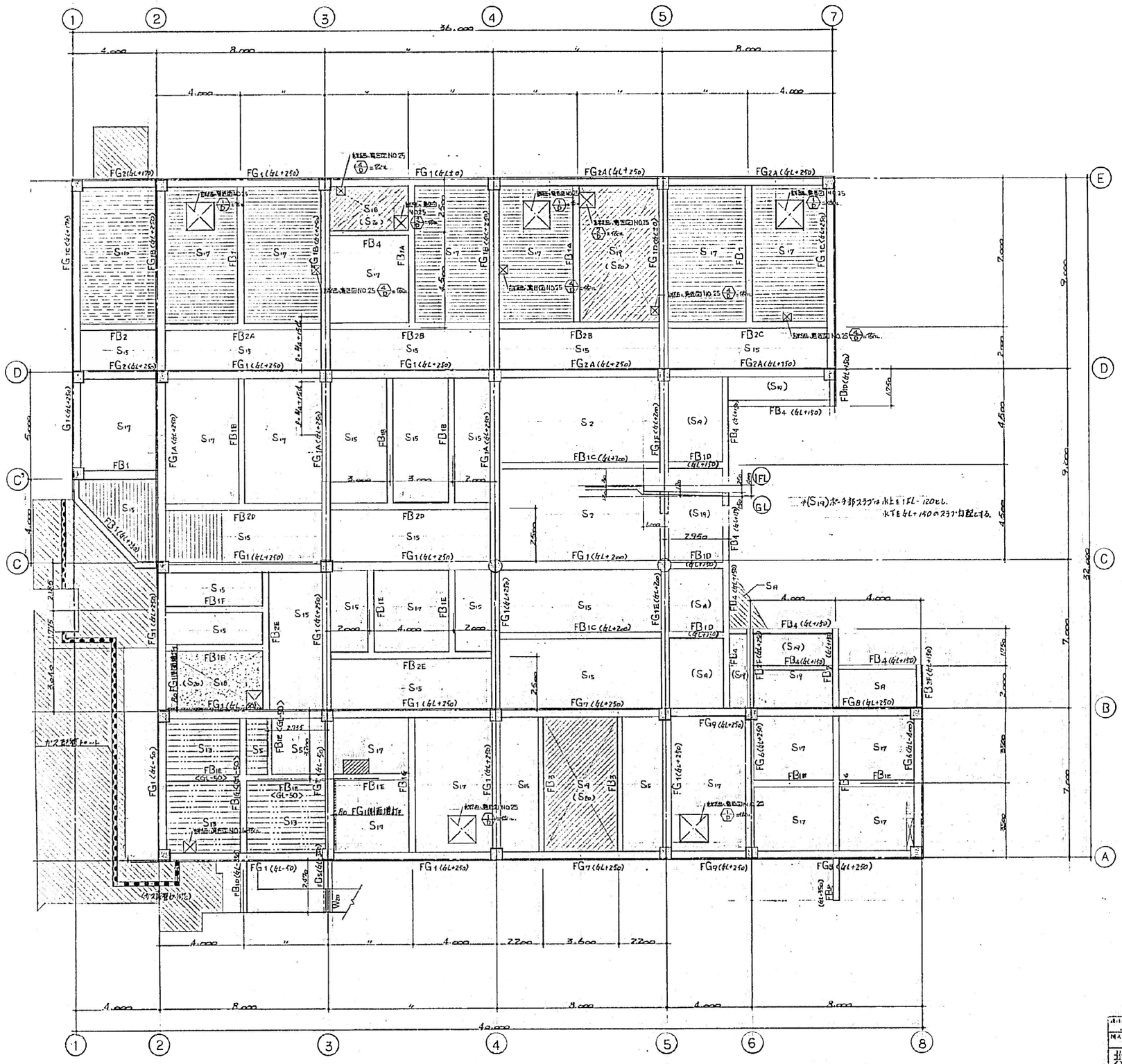
基礎伏図 1/100

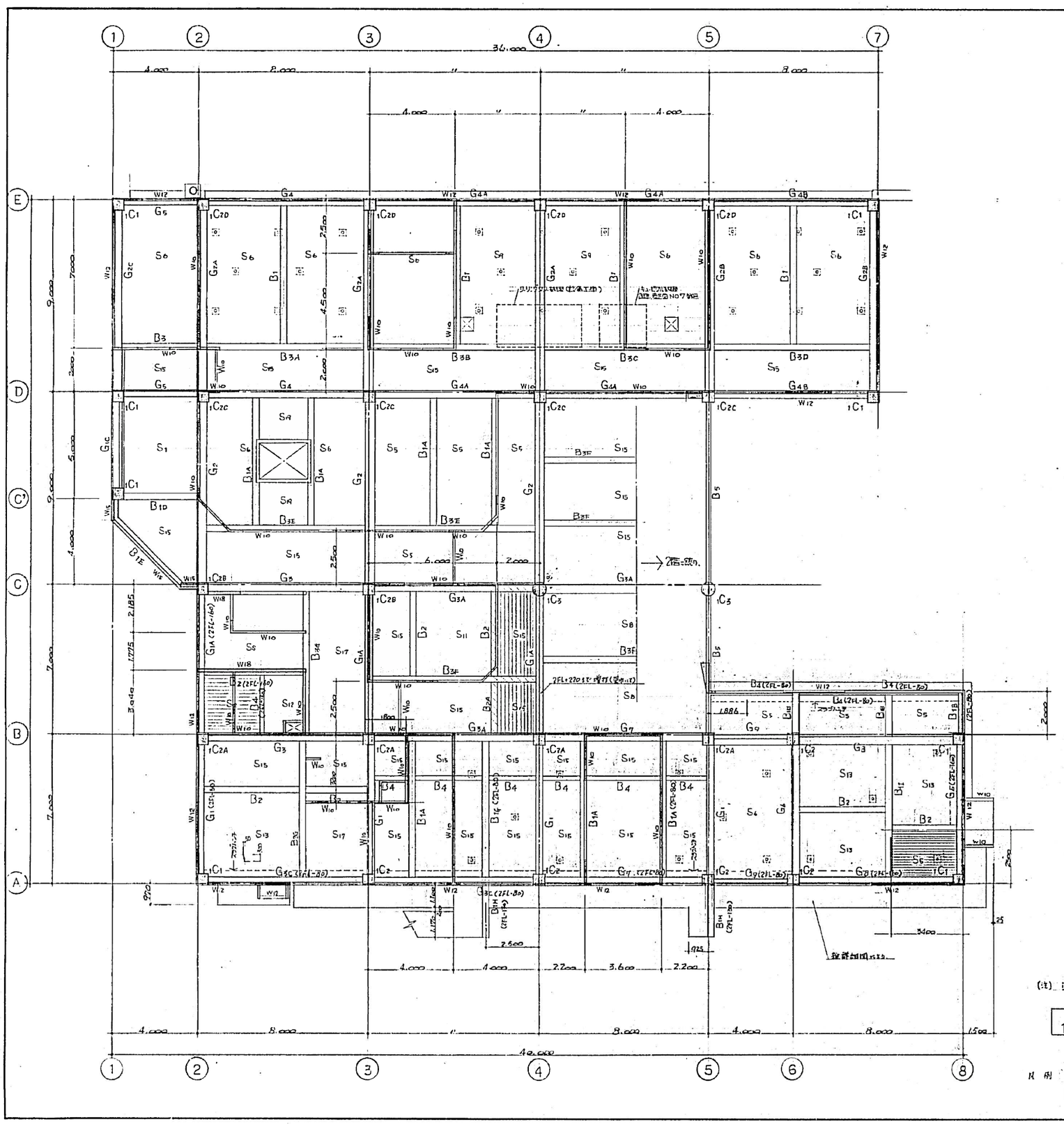
※ 杭 PC A種 450φ
R2: 35.0 T/本
プレボーリング・ハンドオーガ・セメントミルク注入工法

○本杭	106本	計. 111本
② 杭頭用試験杭	4本	
③ ベンチマーク用杭	1本	

※ 杭頭用試験杭の支持層は GL-16.0m 以上 1m はモルタル埋込みとする

建築名称	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事	設計図	
図名	杭伏図	縮尺 1/100	図面番号 C/7
共同設計体			


36,000
42,000
32,000
FG1(GL+250)
FG2A(GL+250)
FG2(GL+170)
FB2
FB2A
FB2B
FB2C
FB2D
FB2E
FB1
FB1A
FB1B
FB1C(GL+200)
FB1D
FB1E
FB1F
FB4
FB4(GL+150)
FG7(GL+250)
FG8(GL+250)
FG9(GL+250)
FG9(GL+200)
S17
S15
S2
S9
S5
S13
S19
S11
(S20)
(S19)
(S18)
(S9)
(S8)
1FL
GL
ガス配管ピット(外部廻り)
ガス配管ピット
(ガス配管ピット)
Wm
凡例(スラブの位置を示す)
1FL-50
1FL-90
1FL-100
1FL-110
1FL-250
凡例なきスラブ天端は全て1FL-50とする。
地中梁の書き込みなきは、全て1FL-100とする。
土間コン GL+120 (水上)
GL-50
地中梁・1階床伏図 1/100
C/3



(注) ▨ スラブ打込フックを示す 詳細は別図による

1階柱壁 2階梁床伏図 1/100

凡例 なきスラブ天端は、全て2FL-30とする。
ヤネ部スラブは2FL-30とし下とし、1/100のスラブ図記とする。

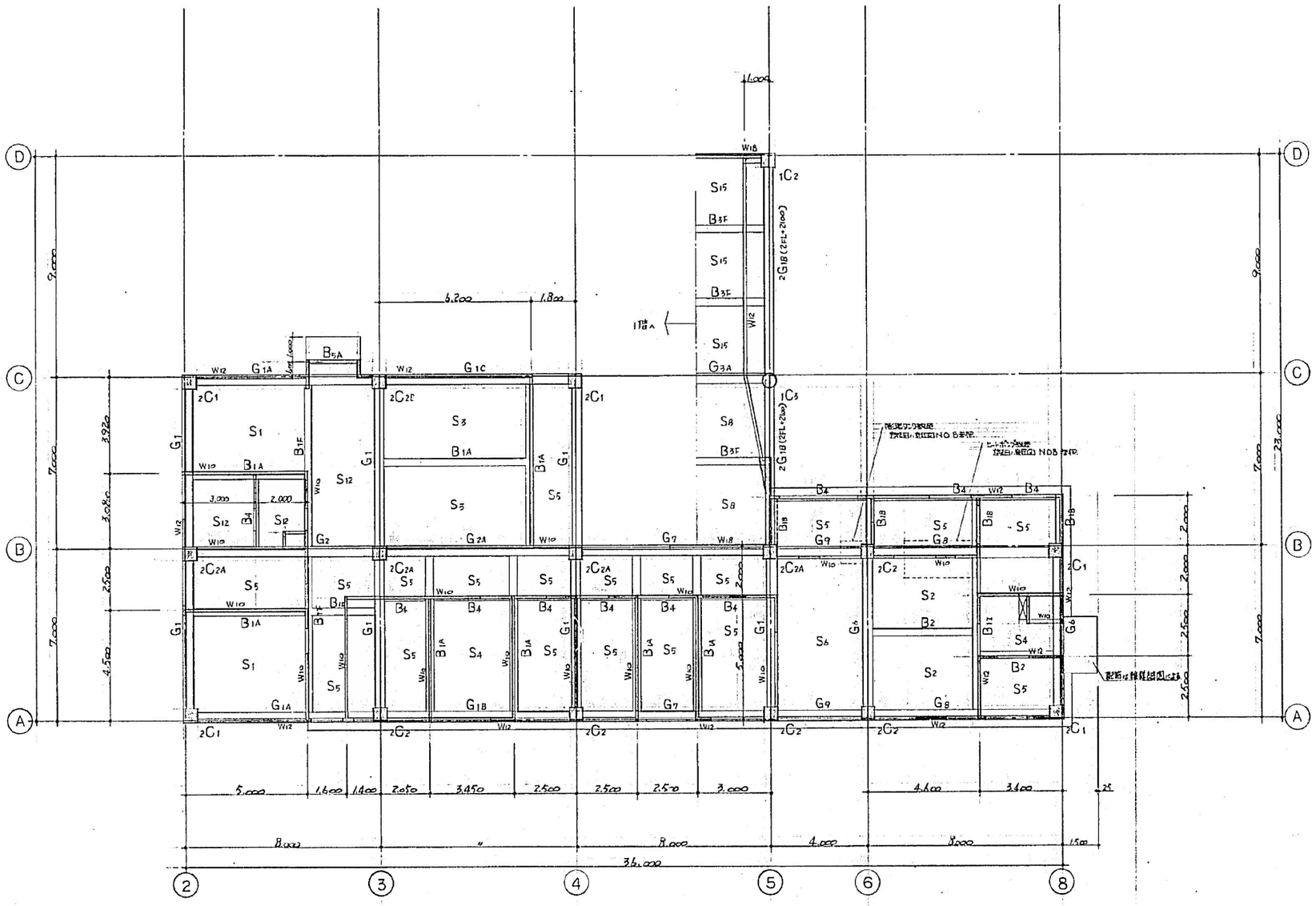
凡例 2FL-160 (スラブ位置)

2FL+220 (〃)

巻き込みなき大梁・小梁位置は全て2FL-30とする

所在地	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新設工事 設計図		
図名	1階柱壁・床伏図	縮尺 1/100	図番 C/9

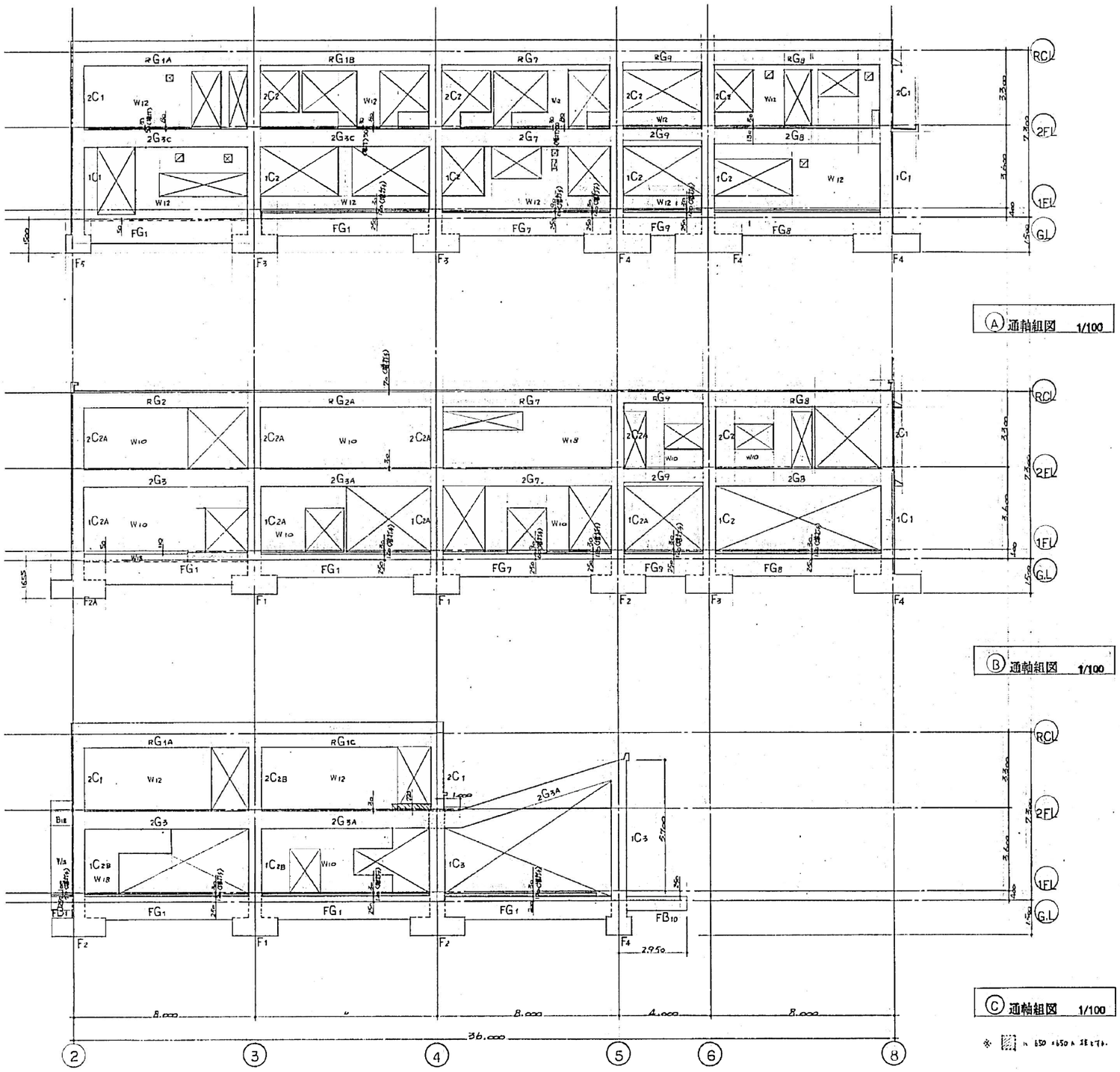
共同設計株式会社 [redacted]



2階柱壁R階梁床伏図 1/100

※屋根スラブはRCLを水下とし、1/100のスロープ勾配とする。
大梁・小梁の位置は全てRCLを天端とする。

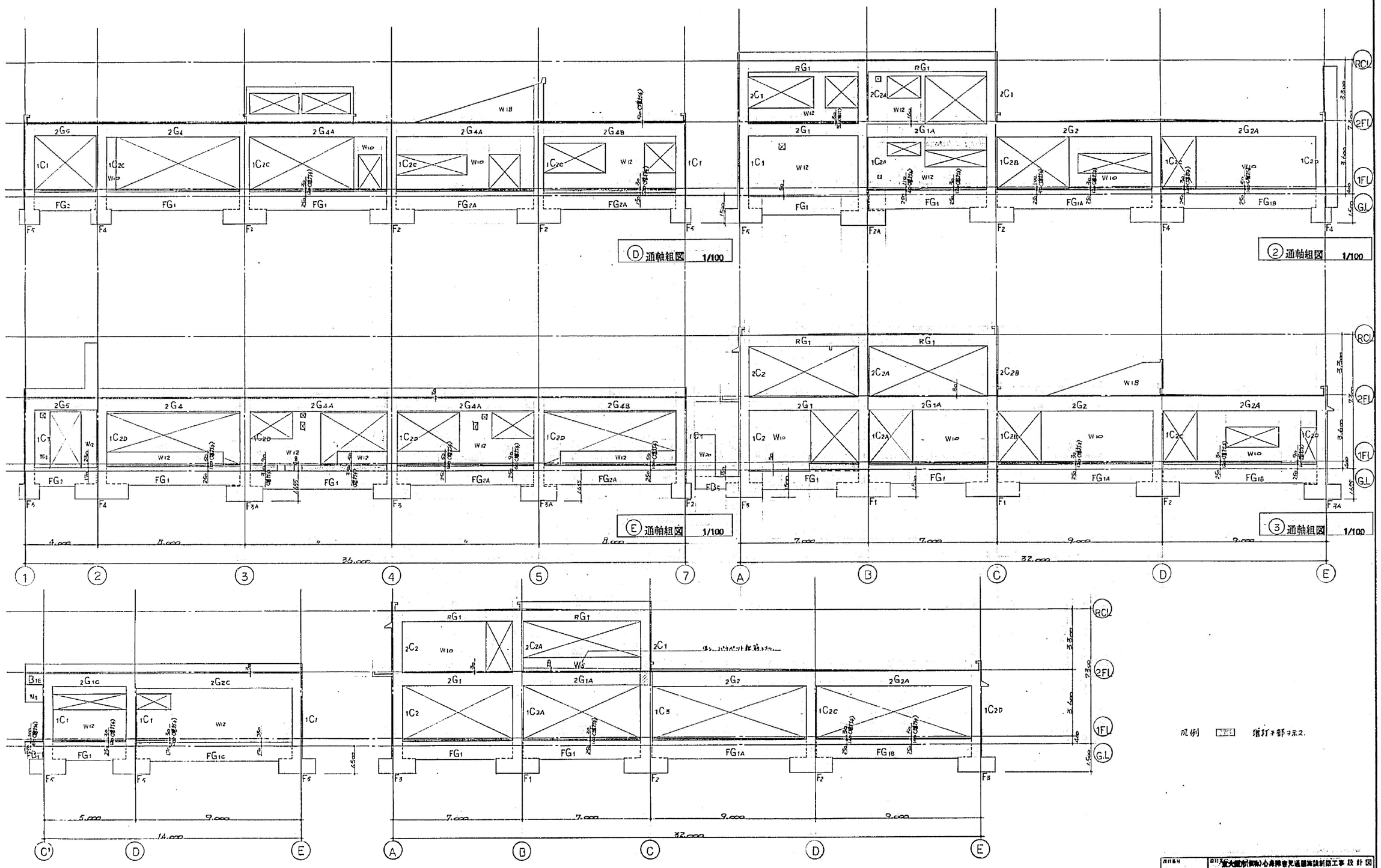
名称	堺大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事		
図名	2階柱壁R階梁床伏図	縮尺 1/100	図番 C/10
共同設計	株式会社		

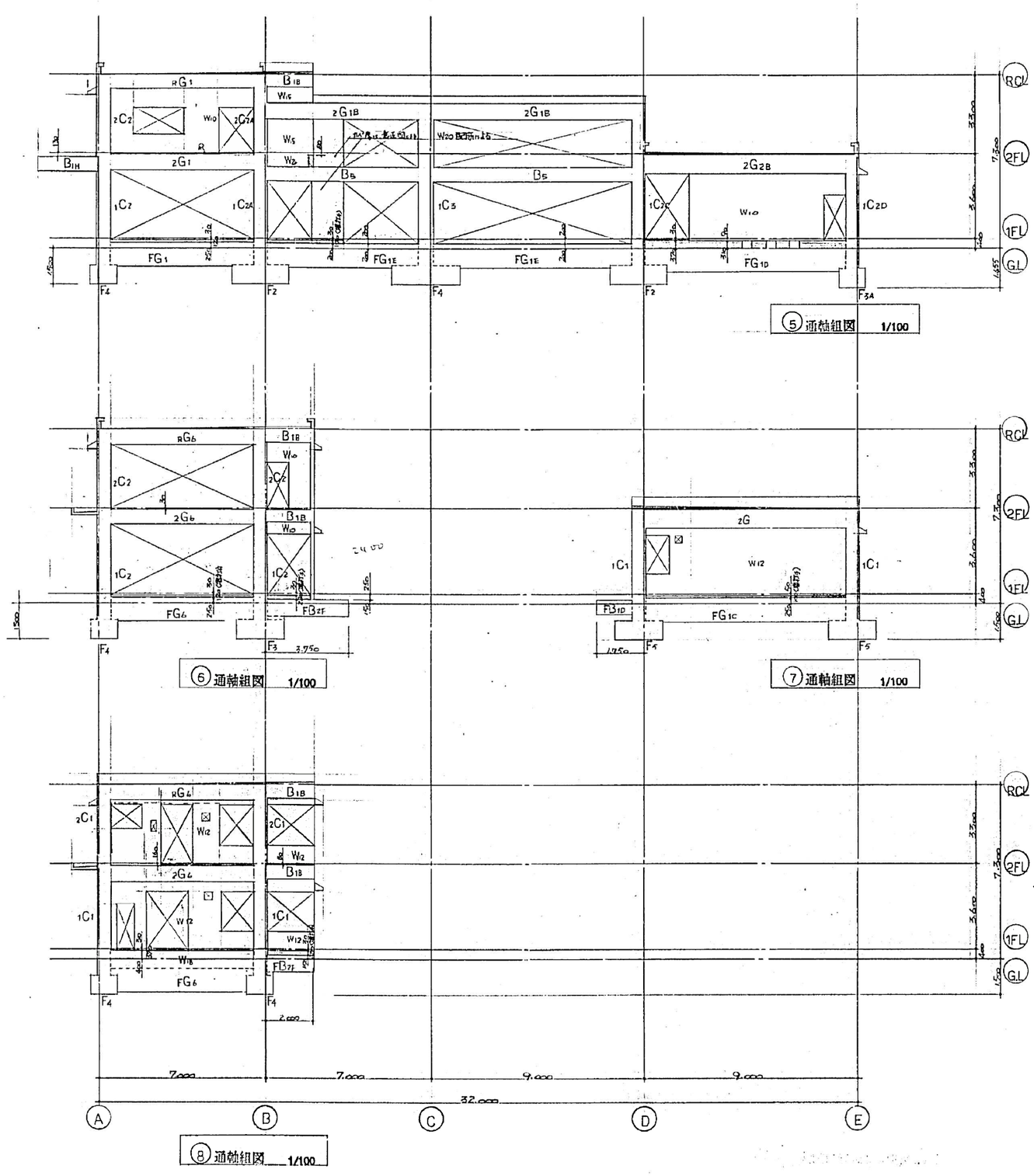


凡例 ▭ 増打ち部ヨヲ示す。

※ ▨ は 650×650 を示す。

共同設計株式會社	A～C 通軸組図	1/100	C/11

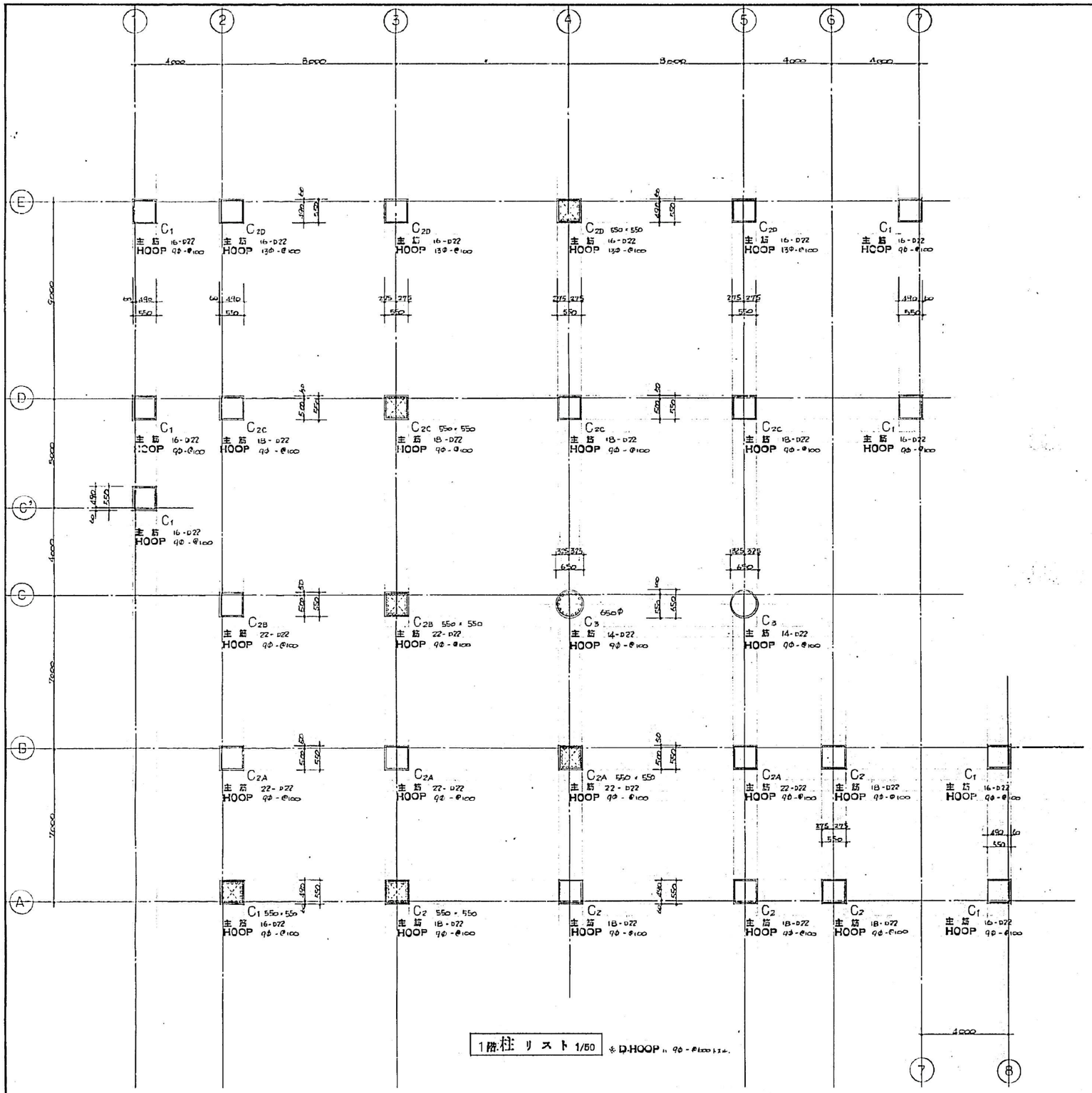

Ⓓ通軸組図 1/100
Ⓔ通軸組図 1/100
② 通軸組図 1/100
③ 通軸組図 1/100
① 通軸組図 1/100
④ 通軸組図 1/100
RCL
2FL
1FL
G.L
凡例
増打ヶ部ヲ示ス.
共同設計株式会社
通軸組図
D~E, 1~4
1/100
C/12



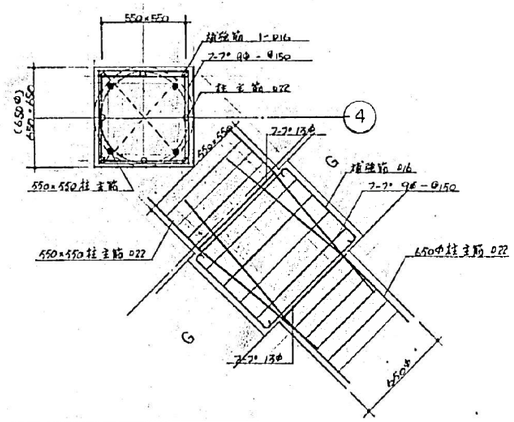
凡例 ▭ 増打ち部コンク.

設計者名	設計者	堺大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事設計図		
図名	5~8 通軸組図	縮尺 1/100	図面	図面番号 C/13

共同設計株式会社

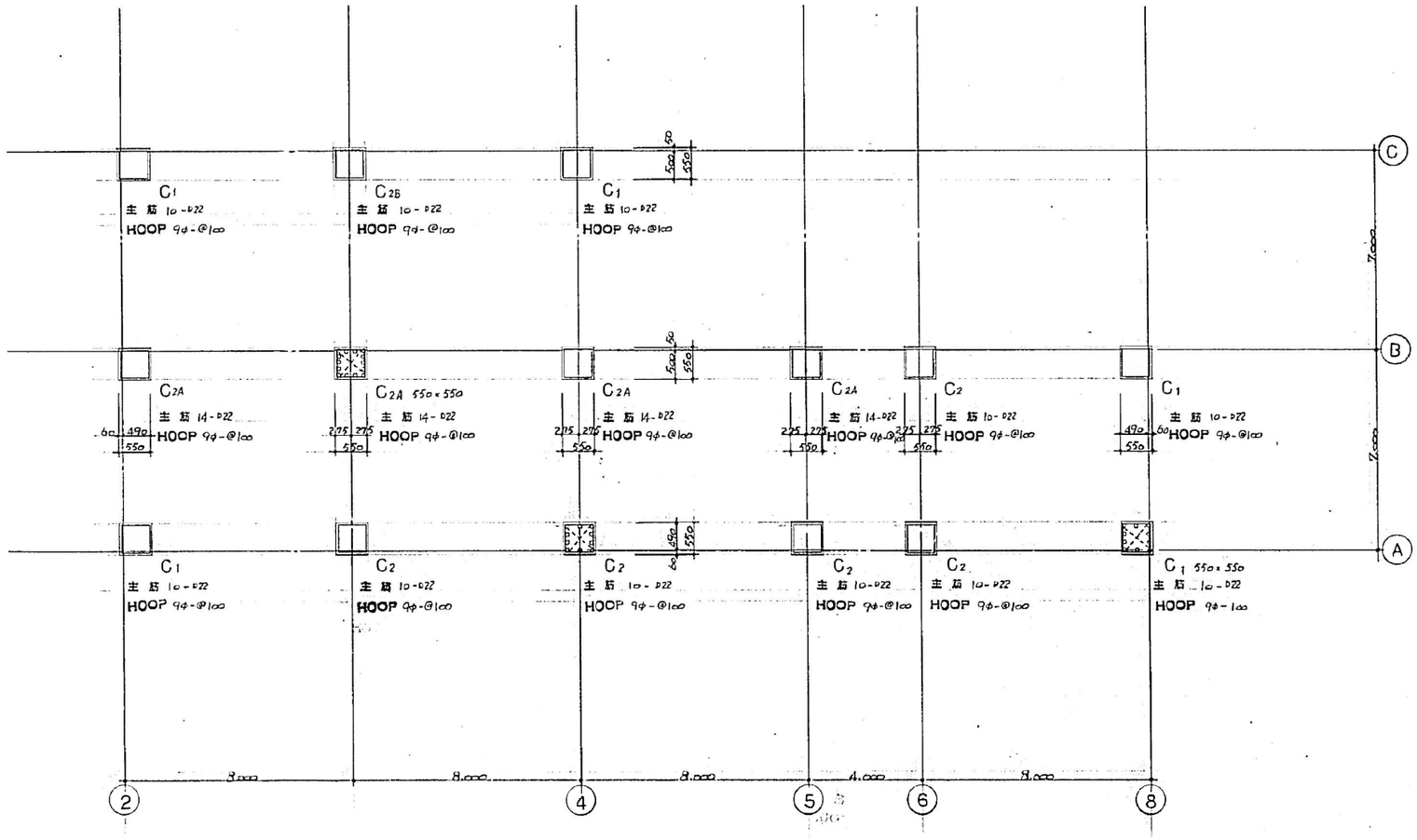


1階柱リスト 1/50 ※D-HOOPは 9φ-@100とする。



1C2とC1との取合い配筋図 1/20

設計番号	建設名 宝大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事(2)比例			
図名 柱リスト(1)	縮尺 1/50	図番 C/41	図面番号	
共同設計株式會社	本社 大阪市北区西天満2丁目 TEL. (06)(341) 8 3 3 8 (代) 本支店 大阪市北区中崎西2丁目(第中ビル) TEL. (06)(313) 1 1 0 0 本社東京事務所 東京都千代田区内神田1丁目10-14(ストアビル) 03 (257) 5 2 8 1			



2階 柱リスト 1/50

※D.HOOPは、9φ-@600とする。

所在地	工事名	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事	12 H
縮尺 —	柱リスト (2)	1/50	図番号 C/15
共同設計株式会社			

大梁リスト 1/50

※ 中柱1箇所 9φ - @1000

R.

	G1		G1A			G1B			G1C			G2			G2A			G2B			G2C	
	両端部	中央	2 端	中央	3 端	3 端	中央	4 端	3(4)端	中央	4(5)端	2 端	中央	3 端	3 端	中央	4 端	4 端	中央	5 端		
								3箇所 切り									3箇所 切り					
B・D	400 × 600		400 × 600			400 × 600			400 × 600			400 × 650			400 × 650			400 × 650				
上端筋	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	8 - D22	7 - D22	3 - D22	7 - D22	7 - D22	3 - D22	5 - D22	4 - D22	4 - D22	9 - D22	8 - D22	4 - D22	8 - D22	6 - D22	3 - D22	4 - D22		
横筋	2 - 9φ		2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ				
下端筋	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	7 - D22	7 - D22	4 - D22	7 - D22	7 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	5 - D22	9 - D22	8 - D22	4 - D22	8 - D22	5 - D22	4 - D22	3 - D22		
ST1	9φ - @150		9φ - @150			9φ - @150			13φ - @200			13φ - @200			13φ - @200			13φ - @200				

2.

	両端部	中央	B 端	中央	C 端	B・D 端	中央	C 端	C' 端	中央	D 端	C 端	中央	D 端	D 端	中央	E 端	D 端	中央	E 端	両端部	中央
																D端 切り				D端 切り		
B・D	400 × 700		400 × 700			400 × 700			400 × 700			450 × 800			450 × 800			450 × 800			450 × 800	
上端筋	4 - D25	3 - D25	4 - D25	4 - D25	7 - D25	6 - D22	3 - D22	7 - D22	3 - D22	2 - D22	3 - D22	9 - D25	5 - D25	9 - D25	9 - D25	9 - D25	5 - D25	7 - D25	5 - D25	7 - D25	4 - D25	3 - D25
横筋	2 - 9φ		2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ	
下端筋	3 - D25	3 - D25	3 - D25	4 - D25	7 - D25	4 - D22	5 - D22	7 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	9 - D25	6 - D25	9 - D25	9 - D25	9 - D25	5 - D25	7 - D25	7 - D25	7 - D25	3 - D25	4 - D25
ST1	13φ - @200		13φ - @200			9φ - @150			9φ - @150			13φ - @175 III			13φ - @200			13φ - @200			13φ - @200	

	G3			G3A		G3B			G3C		G4			G4A			G4B		G5		
	2 端	中央	3 端	両端部	中央	4 端	中央	5 端	両端部	中央	2 端	中央	3 端	3・5 端	中央	4 端	両端部	中央	両端部	中央	
B・D	400 × 750			400 × 750		400 × 750			400 × 750		400 × 700			400 × 700			400 × 700		350 × 600		
上端筋	7 - D22	6 - D22	10 - D22	8 - D22	4 - D22	8 - D22	4 - D22	7 - D22	5 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	6 - D22	6 - D22	3 - D22	5 - D22	5 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	
横筋	2 - 9φ			2 - 9φ		2 - 9φ			2 - 9φ		2 - 9φ			2 - 9φ			2 - 9φ		2 - 9φ		
下端筋	4 - D22	7 - D22	10 - D22	8 - D22	4 - D22	8 - D22	5 - D22	5 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	6 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	
ST1	13φ - @150			13φ - @200		13φ - @200			13φ - @200		13φ - @200			13φ - @200			13φ - @200		13φ - @200		

F.

	G1		G1A			G1B			G1C		G1D		G1E			G2	G2A	
	両端部	中央	C 端	中央	D 端	D 端	中央	E 端	両端部	中央	両端部	中央	B・D 端	中央	C 端	全断面	両端部	中央
	捨コン @50 敷砂利 @50																	
B・D	400 × 1000		450 × 1000			450 × 1000			400 × 1000		400 × 1000		400 × 1000			400 × 1000	400 × 1000	
上端筋	4 - D22	3 - D22	6 - D25	5 - D25	10 - D25	10 - D25	8 - D25	4 - D25	5 - D25	3 - D25	7 - D25	4 - D25	3 - D22	3 - D22	5 - D22	4 - D22	5 - D22	3 - D22
横筋	4 - 9φ		4 - 9φ			4 - 9φ			4 - 9φ		4 - 9φ		4 - 9φ			4 - 9φ	4 - 9φ	
下端筋	3 - D22	4 - D22	5 - D25	6 - D25	10 - D25	10 - D25	8 - D25	4 - D25	3 - D25	4 - D25	4 - D25	6 - D25	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22
ST1	13φ - @200		13φ - @150			13φ - @150			13φ - @150		13φ - @150		13φ - @200			13φ - @200	13φ - @200	

内訳書	内訳名 東大阪市(仮称)小児総合医療施設新築工事設計図
図名	大梁・地中大梁リスト
縮尺	1/50
図番	C/16

共同設計株式会社
本社 大阪市北区中崎西2丁目 TEL. 06(374)8888(代)
分室 大阪市北区中崎西2丁目(梅田ビル) TEL. 06(313)1148
東京事務所 東京都千代田区麹町1丁目10-1(入江ビル) TEL.03(3237)0651

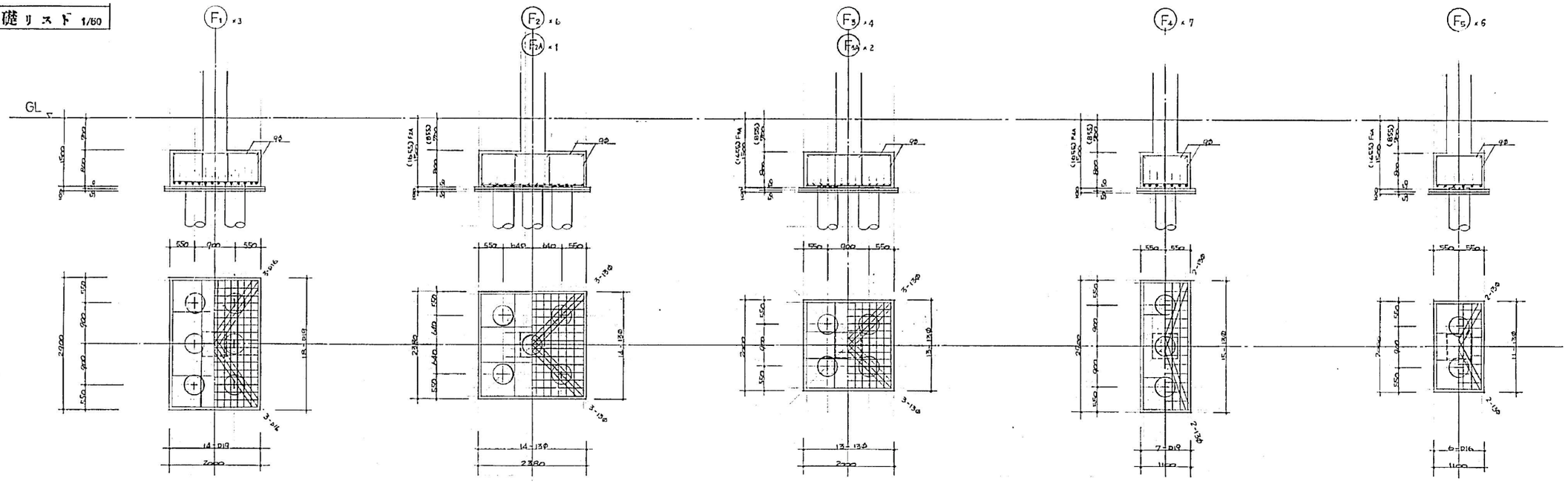
大梁リスト 1/50

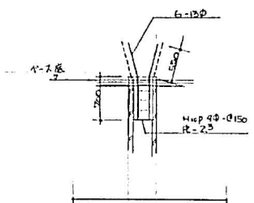
※ 中柱筋 9φ-@1000

		G6		G7		G8			G9	
	位置	両端部	中央	両端部	中央	外端部	中央	内端部	両端部	中央
R.	断面									
	B×D	400 × 600		400 × 600		400 × 600			350 × 600	
	上端筋	5-D22	3-D22	7-D22	4-D22	5-D22	3-D22	7-D22	4-D22	3-D22
	腰筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ			2-9φ	
	下端筋	3-D22	3-D22	6-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22
	ST.	9φ-@150		13φ-@200		13φ-@200			9φ-@150	
2.	断面							外端部に同じ		
	B×D	400 × 700		400 × 750		400 × 750			350 × 600	
	上端筋	5-D25	3-D25	8-D22	4-D22	6-D22	4-D22		5-D22	3-D22
	腰筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ			2-9φ	
	下端筋	3-D25	3-D25	8-D22	5-D22	3-D22	5-D22		3-D22	3-D22
	ST.	13φ-@200		13φ-@200		13φ-@150			13φ-@150	
1.	断面									
	B×D	400 × 1000		400 × 1000		400 × 1000			400 × 1000	
	上端筋	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	5-D22	3-D22
	腰筋	4-9φ		4-9φ		4-D10			4-9φ	
	下端筋	3-D22	3-D22	5-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22
	ST.	13φ-@200		13φ-@200		13φ-@200			13φ-@200	

設計者印	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事設計図	
図名 大梁リスト	縮尺 1/50	C/17

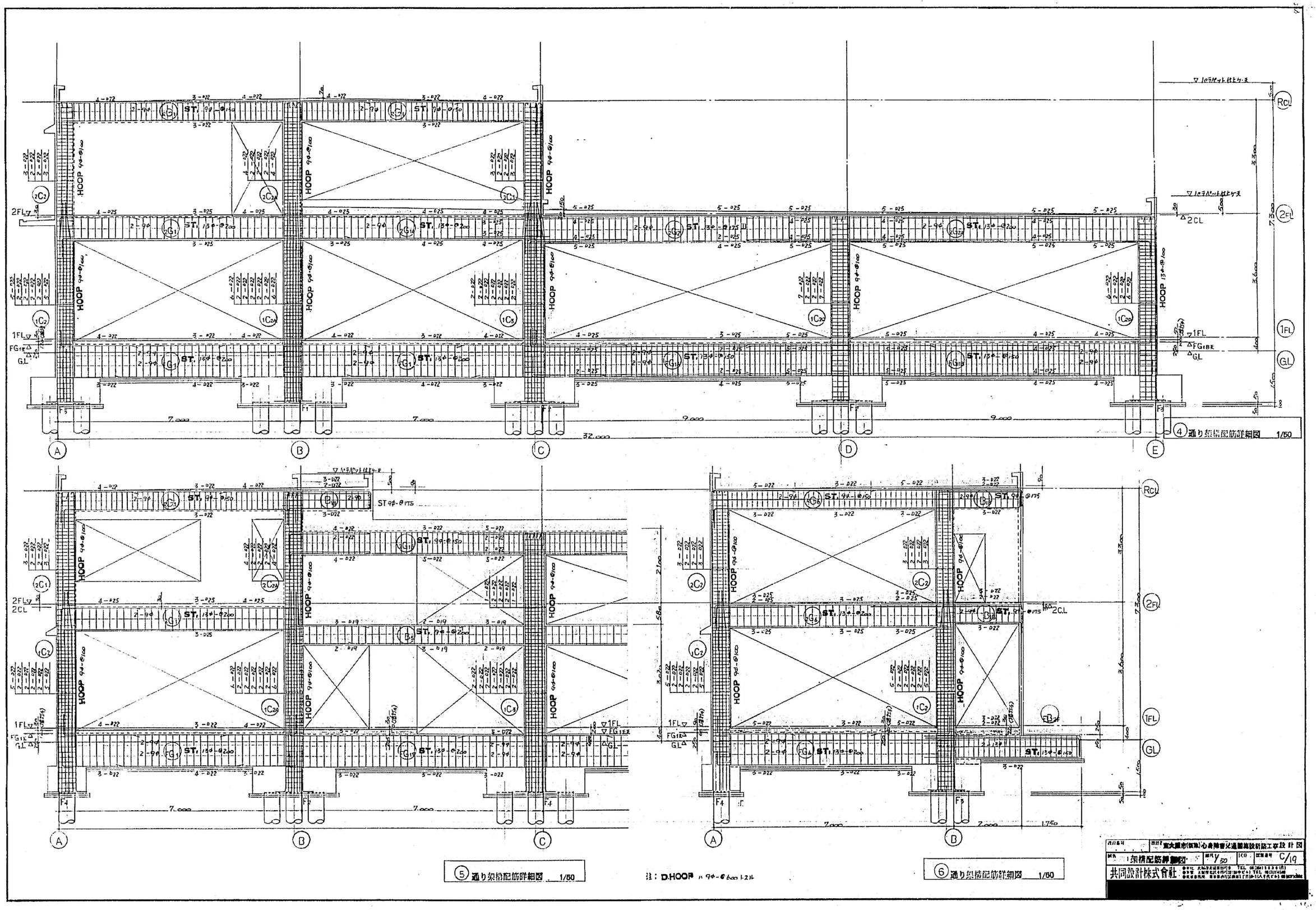
基礎リスト 1/50

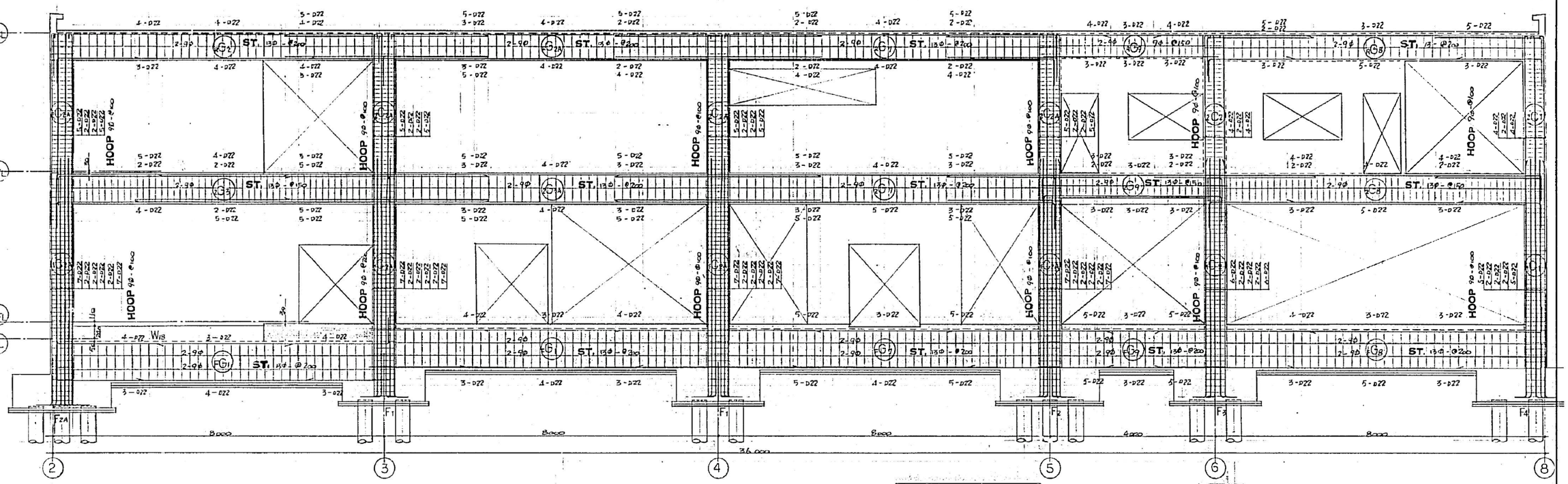




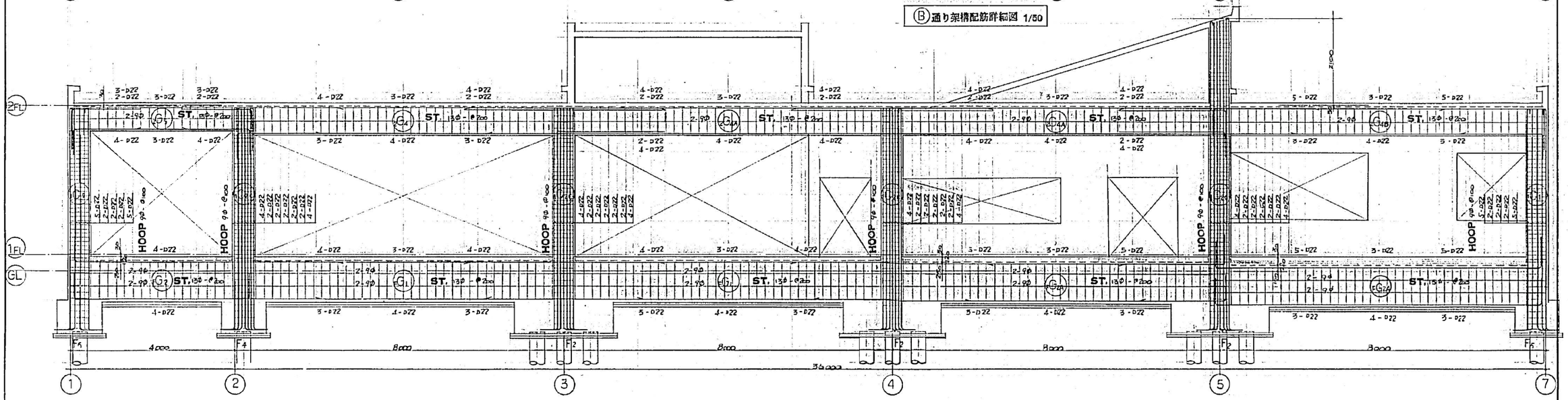
杭頭処理図 1/50

工事名	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事			設計図
図名	基礎リスト	尺度 1/50	作図	図面番号 C/18
共同設計株式会社				


④ 通り架構配筋詳細図 1/50
⑤ 通り架構配筋詳細図 1/50
⑥ 通り架構配筋詳細図 1/50
注：D-HOOP は 9φ-@600 上2ヒ
HOOP 9φ-@100
ST. 9φ-@150
ST. 13φ-@200
2FL
1FL
GL
2CL
RCL
A
B
C
D
E
7.000
9.000
32.000
共同設計株式会社



Ⓑ通り架構配筋詳細図 1/50



Ⓓ通り架構配筋詳細図 1/50

設計番号	設計名称	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事及び付帯		
図名	架構配筋詳細図	縮尺 1/50	縮尺	図面番号 C/20
共同設計株式会社	[redacted]			

小梁リスト 1/50

※中止め筋 ハ9φ-@600 12ヶ

	B1		B1A		B1B	B1C		B1D	B1E		B1F			B1G			B1H
	端部	中央	端部	中央	全断面	B端部	中央 端部	全断面	端部	中央	A,C端部	中央	B端部	A端部	中央	B端部	全断面
B×D	300×600		300×600		300×600	300×600		300×600	300×600		300×600			300×600			300×600
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D19	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	5-D22	6-D22	3-D22	3-D22	6-D22
横筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ	2-9φ		2-9φ	2-9φ		2-9φ			2-9φ			2-9φ
下端筋	5-D22	7-D22	4-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D19	5-D22	6-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	5-D22	4-D22	3-D22
ST.	13φ-@175		9φ-@125		9φ-@175	9φ-@175		9φ-@200	13φ-@150		13φ-@175			13φ-@200			13φ-@200

	B2		B3			B3A		B3B		B3C			B2A	B1I	
	端部	中央	1端部	中央	2端部	2端部	中央	3端部	端部	中央	4端部	中央	5端部	全断面	A端部・中央	B端部
B×D	300×500		300×700			300×700			300×700		300×700			300×500	300×600	
上端筋	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	5-D22	5-D22	2-D22	4-D22	6-D22	2-D22	4-D22	2-D22	7-D22	3-D22	3-D22	5-D22
横筋			2-9φ			2-9φ			2-9φ		2-9φ				2-9φ	
下端筋	4-D22	5-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	4-D22	4-D22	5-D22	4-D22	5-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D22
ST.	13φ-@175		9φ-@200			① 13φ-@200	13φ-@200	① 13φ-@200	① 13φ-@200	13φ-@200	① 13φ-@200	13φ-@200	① 13φ-@200	13φ-@200	9φ-@150	

	B3D		B3E			B3F			B3G		B4	B5		B5A
	5端部	中央	7端部	2,4端部	中央	3端部	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面
B×D	300×700			300×700			300×700		300×700		200×400	200×600		200×600
上端筋	7-D22	3-D22	3-D22	3-D25	3-D25	7-D25	3-D22	4-D22	3-D25	3-D25	2-D19	3-D19	2-D19	2-D19
横筋		2-9φ			2-9φ		2-9φ		2-9φ			2-9φ		2-9φ
下端筋	4-D22	7-D22	5-D22	5-D25	6-D25	4-D25	5-D22	6-D22	5-D25	7-D25	2-D19	2-D19	3-D19	2-D19
ST.	① 13φ-@150	13φ-@150	① 13φ-@150	① 13φ-@175	13φ-@175	① 13φ-@125	9φ-@200		13φ-@175		9φ-@200	9φ-@200		9φ-@200

地中小梁リスト 1/50

※中止め筋 ハ9φ-@600 12ヶ
地中梁底、敷砂利、捨てCON共 @50 12ヶ

	FB1		FB1A		FB1B		FB1C			FB1D	FB1E	FB1F		FB8
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	4端部	中央	5端部	全断面	全断面	端部	中央	全断面
B×D	300×600		300×600		300×600			300×600		300×600	300×600	300×600		350×600
上端筋	3-D22	3-D22	3-D25	3-D25	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	4-D19	3-D22	3-D22	4-D22
横筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ			2-9φ		2-13φ	2-9φ	2-9φ		
下端筋	4-D22	7-D22	5-D25	6-D25	3-D22	4-D22	5-D22	5-D22	3-D22	3-D22	4-D19	4-D22	5-D22	3-D22
ST.	13φ-@200		① 13φ-@175	13φ-@175	9φ-@200			13φ-@150		13φ-@200	9φ-@200	13φ-@150		9φ@175

	FB1G		FB2	FB2A		FB2B		FB2C			FB2D			
	端部	中央	全断面	3端部	中央2端部	4,5端部	中央	5端部	中央	7端部	2,4端部	中央	3端部	全断面
B×D	300×600		300×700	300×700		300×700		300×700			300×700			
上端筋	5-D22	3-D22	3-D22	7-D22	3-D22	7-D22	3-D22	7-D22	3-D22	3-D22	3-D25	3-D25	6-D25	
横筋	2-9φ		2-9φ	2-9φ		2-9φ		2-9φ			2-9φ			
下端筋	4-D22	6-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	4-D22	4-D22	5-D25	5-D25	3-D25	
ST.	13-φ200		9φ-@200	13φ-@150		13φ-@125		13φ-@125			① 13φ-@150	13φ-@150	① 13φ-@150	

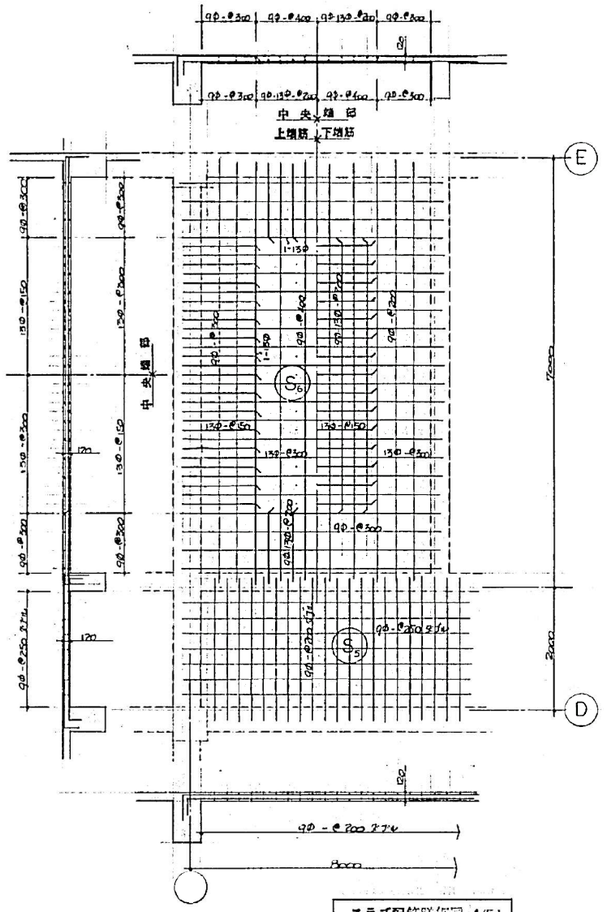
	FB2E		FB2F	FB3		FB3A		FB3B	FB4	FB5	FB6			FB7
	端部	中央	全断面	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	全断面	A端部	中央	B端部	全断面
B×D	300×700		300×700	750×1,000		750×1,000		750×1,000	200×600	400×700	350×700			350×700
上端筋	3-D22	3-D22	5-D22	2-D22	2-D22	3-D25	3-D25	2-D19	2-D19	6-D22	3-D22	4-D22	8-D22	8-D22
横筋	2-9φ		2-13φ	4-9φ		4-9φ		4-9φ	2-9φ	2-9φ		2-9φ		2-9φ
下端筋	5-D22	6-D22	3-D22	2-D22	4-D22	4-D25	5-D25	2-D19	2-D19	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
ST.	13φ-@200		13φ@150	9φ-@200		9φ-@150		9φ-@200	9φ-@200	13φ-@200	13φ-@200			13φ-@100

共同設計株式会社	工事名	大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事及外構
	図名	小梁・地中小梁リスト
	縮尺	1/50
	図面番号	C/21

[redacted]

床版リスト

	T		短辺方向		長辺方向	
			端部	中央	端部	中央
S_1	120	上端筋	9φ・13φ - @200	9φ - @400	9φ・13φ - @200	9φ - @400
		下端筋	9φ - @400	9φ・13φ - @200	9φ - @400	9φ・13φ - @200
S_2	150	上端筋	13φ - @175	——	9φ・13φ - @250	——
		下端筋	13φ - @350	13φ - @175	9φ - @500	9φ・13φ - @250
S_3	120	上端筋	9φ・13φ - @200	9φ - @400	9φ - @200	9φ - @400
		下端筋	9φ - @400	9φ・13φ - @200	9φ - @400	9φ - @200
S_4	120	上端筋	9φ・13φ - @200	9φ - @400	9φ - @250	9φ - @500
		下端筋	9φ - @400	9φ・13φ - @200	9φ - @500	9φ - @250
S_5	120	上端筋	9φ - @200	9φ - @200	9φ - @250	9φ - @250
		下端筋	〃	〃	〃	〃
S_6	120	上端筋	13φ - @150	13φ - @300	9φ・13φ - @200	9φ - @400
		下端筋	13φ - @300	13φ - @150	9φ - @400	9φ・13φ - @200
S_7	120	上端筋	13φ - @200	13φ - @400	9φ・13φ - @200	9φ - @400
		下端筋	13φ - @400	13φ - @200	9φ - @400	9φ・13φ - @200
S_8	150	上端筋	13φ - @200	13φ - @400	9φ - @175	9φ - @350
		下端筋	13φ - @400	13φ - @200	9φ - @350	9φ - @175
S_9	120	上端筋	13φ - @125	13φ - @250	9φ・13φ - @150	9φ - @300
		下端筋	13φ - @250	13φ - @125	9φ - @300	9φ・13φ - @150
S_{10}		上端筋	——	——	——	——
		下端筋	——	——	——	——
S_{11}	120	上端筋	9φ - @150	——	9φ - @175	——
		下端筋	9φ - @300	9φ - @150	9φ - @350	9φ - @175
S_{12}	120	上端筋	9φ - @175	9φ - @175	9φ - @200	9φ - @200
		下端筋	〃	〃	〃	〃
S_{13}	120	上端筋	9φ・13φ - @175	——	9φ・13φ - @200	——
		下端筋	9φ - @350	9φ・13φ - @175	9φ - @400	9φ・13φ - @200
S_{14}		上端筋	——	——	——	——
		下端筋	——	——	——	——
S_{15}	120	上端筋	9φ - @150	9φ - @150	9φ - @200	9φ - @200
		下端筋	〃	〃	〃	〃
S_{16}	150	上端筋	13φ - @125	——	9φ・13φ - @175	——
		下端筋	13φ - @250	13φ - @125	9φ - @350	9φ・13φ - @175
S_{17}	120	上端筋	9φ・13φ - @150	——	9φ - @175	——
		下端筋	9φ - @300	9φ・13φ - @150	9φ - @350	9φ - @175
S_{18}	120	上端筋	9φ・13φ - @150	9φ・13φ - @150	9φ - @175	9φ - @175
		下端筋	〃	〃	〃	〃
S_{19}	120	上端筋	13φ - @150	13φ - @150	9φ・13φ - @200	9φ・13φ - @200
		下端筋	〃	〃	〃	〃
S_{20}	150	上端筋	9φ - @200	9φ - @200	9φ - @250	9φ - @250
		下端筋	〃	〃	〃	〃



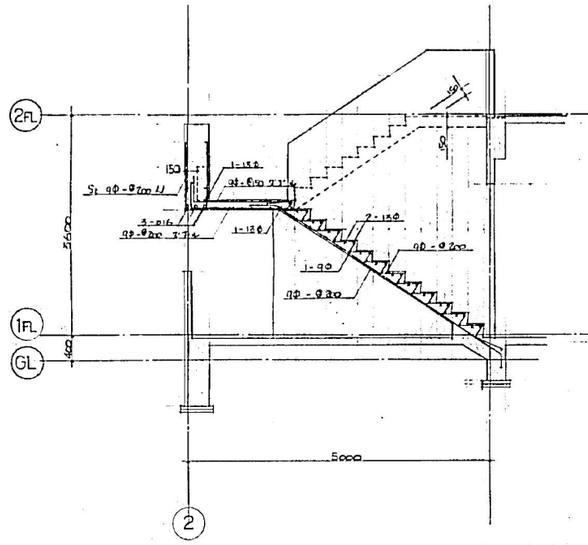
スラブ配筋詳細図 1/50

壁リスト 1/50

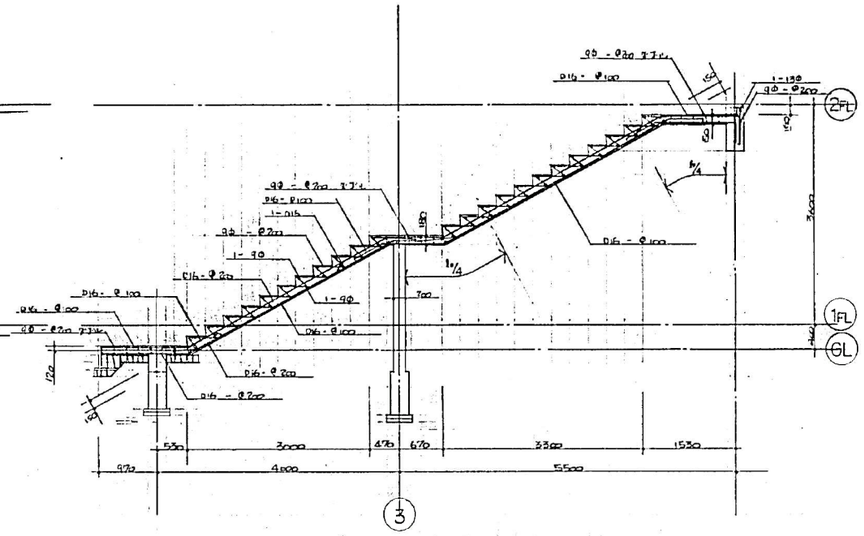
※ 竪筋 9φ - @1000

	W_{10}	W_{12}	W_{15}	W_{18}	W_{20}
	100	120	150	180	200
配筋	9φ - @250 シングルクロス	9φ - @200 シングルクロス	9φ・@150 シングルクロス	9φ - @200 ダブルクロス	9φ - @200 ダブルクロス
開口補強筋	1 - 13φ	1 - 13φ	1 - 13φ	2 - 13φ	2 - 13φ

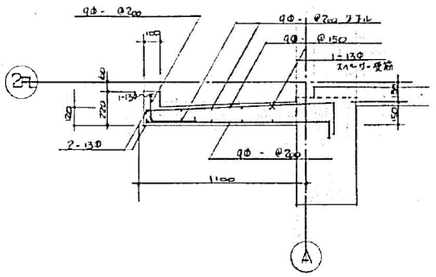
工事名	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事設計図		
図名	床版・壁リスト	縮尺 1/50	図面番号 C/22
共同設計	株式会社		



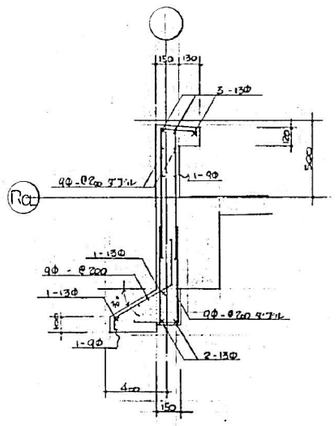
内部階段配筋詳細図 1/50



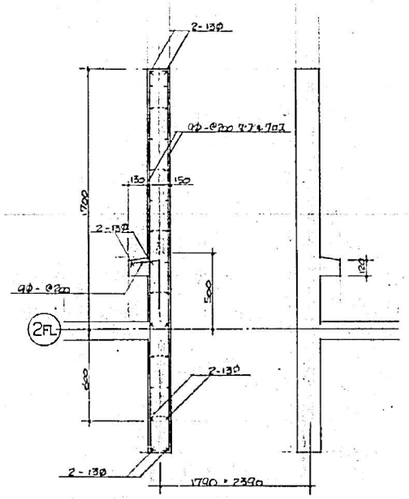
外部階段配筋詳細図 1/50



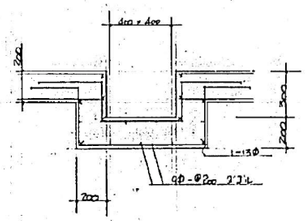
バルコニー配筋詳細図 1/20

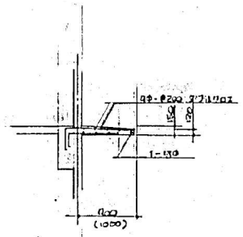


パラペット・庇配筋詳細図 1/20

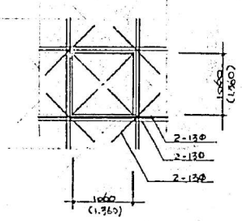


トップライト配筋詳細図 1/20



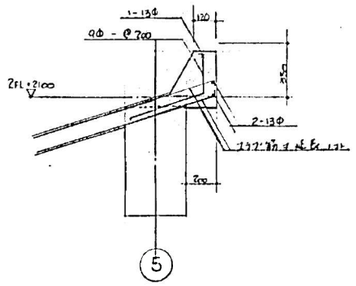


庇配筋詳細図 1/50

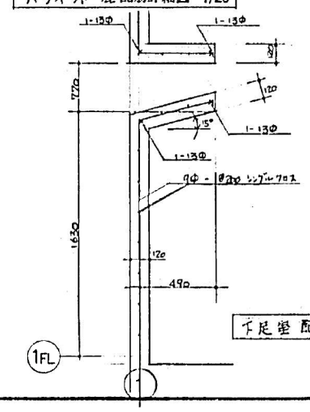


砂場周囲補強配筋詳細図 1/50

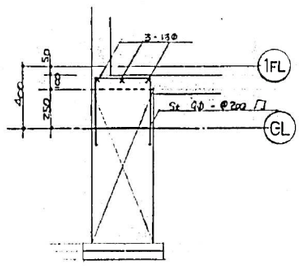
( )内は法人指定不適用現場等に示す



斜ス屋根パラペット配筋詳細図 1/20

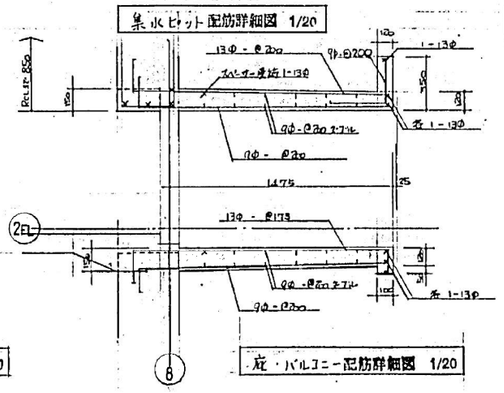


手足壁配筋詳細図 1/20



梁増打部配筋詳細図 1/20

注). 増打厚さ加味上ること
上端筋とスレ=ナラク.

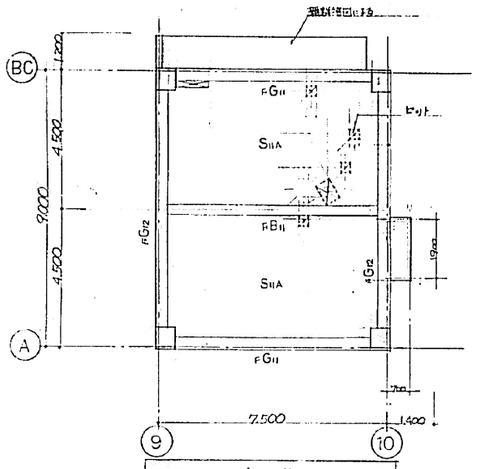


集水ピット配筋詳細図 1/20

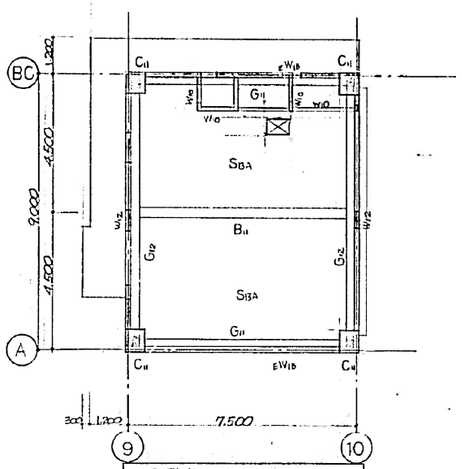
庇・バルコニー配筋詳細図 1/20

共同設計株式会社	階段配筋詳細図	縮尺 1/20・1/50	C/23

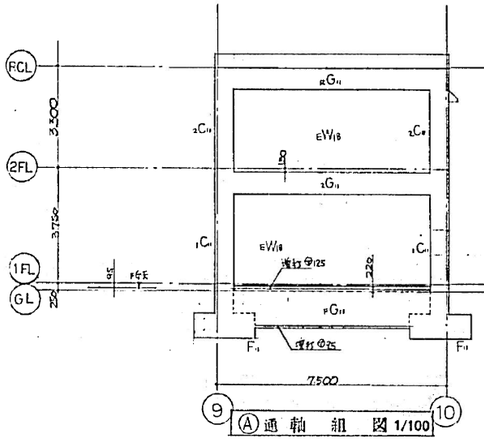
★ ドラガー 033



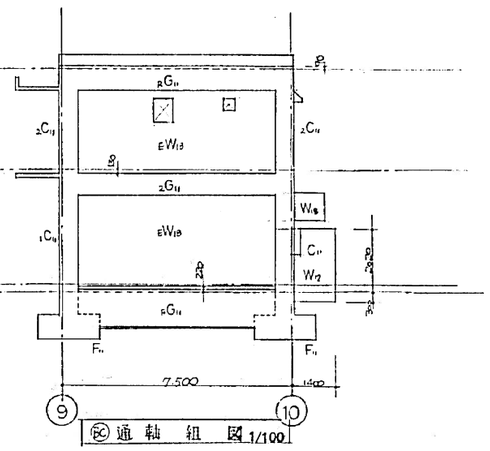
地階 1階床伏図 1/100



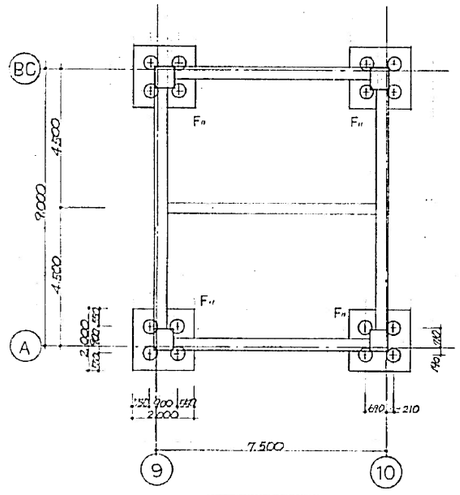
2階柱屋階梁床伏図 1/100



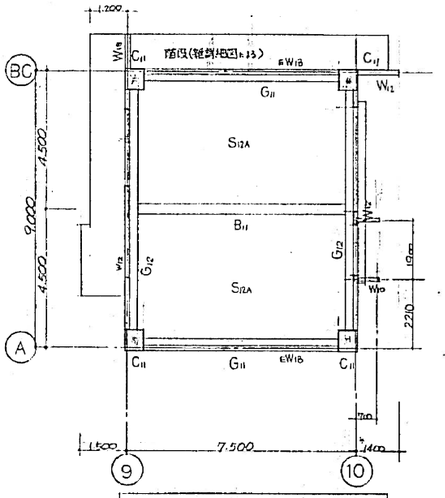
Ⓐ通軸組図 1/100



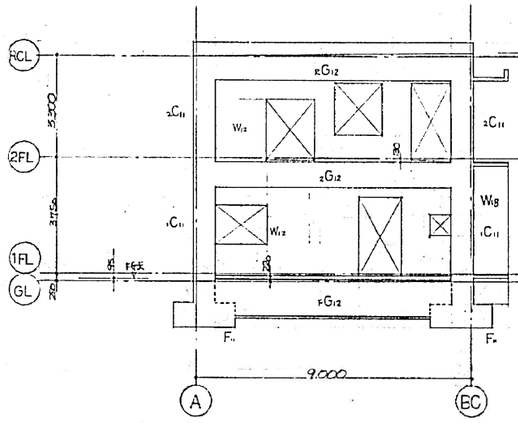
Ⓑ通軸組図 1/100



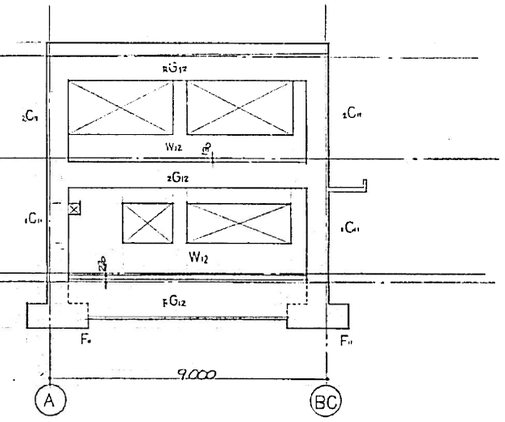
基礎伏図 1/100



1階柱2階梁床伏図 1/100



⑨通軸組図 1/100

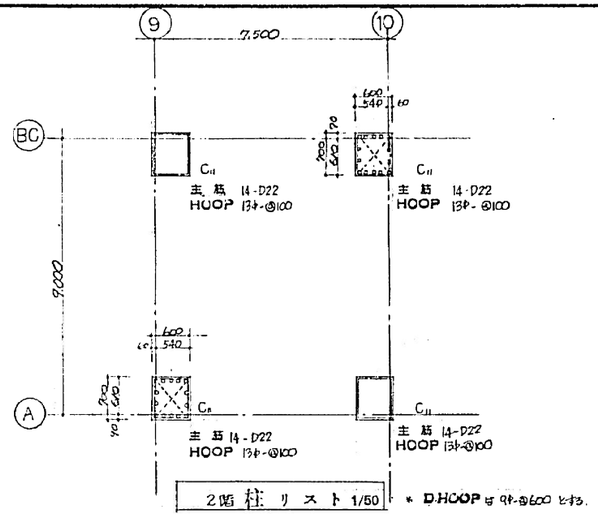


⑩通軸組図 1/100

杭　PC A種　450φ
Pa = 35ᵗ/本
アースオーガー・バイブル 先端材料ミルク 注入 工法
本杭　16本
杭長　15 M

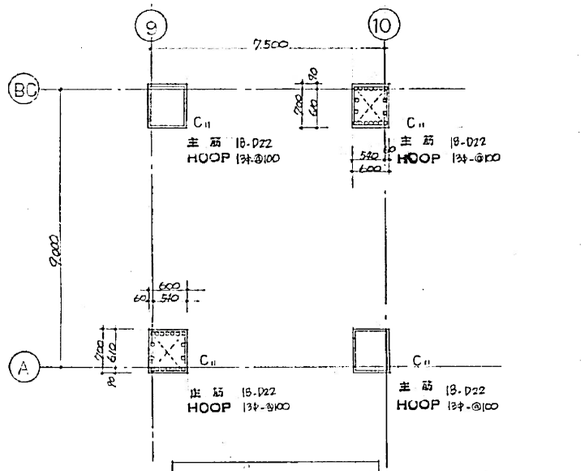
設計番号	工事名	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事設計図	
図名	伏図・軸組図	縮尺 1/100	図番 C/24

共同設計株式会社



2階 柱 リスト 1/50

＊ D.HOOP は 9φ-@600 とする。



1階 柱 リスト 1/50

D.HOOP は 9φ-@600 とする

大梁リスト 1/50

巾止め筋は 9φ-@600 とする

		G_{11}	G_{12}		$_cG_{11}$
R		全断面	両端部	中央	
	B×D	400 × 700	400 × 750		
	上端筋	3-D22	5-D22	4-D22	
	腹筋	2-9φ	2-9φ		
	下端筋	3-D22	3-D22	5-D22	
	ST.	9φ-@150	13φ-@150		
2		全断面	両端部	中央	
	B×D	400 × 700	400 × 850		
	上端筋	3-D22	8-D22	4-D22	
	腹筋	2-9φ	2-9φ		
	下端筋	3-D22	5-D22	6-D22	
	ST.	9φ-@150	13φ-@150		
F		全断面	両端部	中央	全断面
	B×D	400 × 1,200	400 × 1,200		400 × 1,000
	上端筋	3-D22	5-D22	4-D22	3-D22
	腹筋	4-9φ	4-9φ		4-9φ
	下端筋	3-D22	5-D22	6-D22	3-D22
	ST.	9φ-@150	13φ-@200		13φ-@200

小梁リスト 1/50

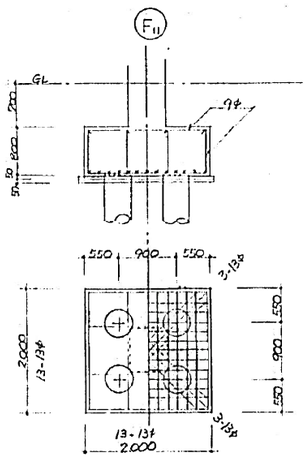
巾止め筋は 9φ-@600 とする

	B_{11}		$_FB_{11}$		$_{FC}B_{11}$
	両端部	中央	両端部	中央	全断面
B×D	350 × 700		350 × 700		350 × 700
上端筋	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	4-D22
腹筋	2-9φ		2-9φ		2-9φ
下端筋	4-D22	6-D22	5-D22	7-D22	3-D22
ST.	9φ-@150		13φ-@200		13φ-@200

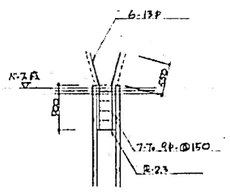
壁リスト 1/30

巾止め筋は 9φ-@1000 とする。

	W_{10}	W_{12}	W_{18}
	100	120	180
配筋	9φ-@250 シングルクロス	9φ-@200 シングルクロス	9φ-@200 ダブルクロス
開口補強筋	1-13φ	1-13φ	2-13φ



基礎リスト 1/50

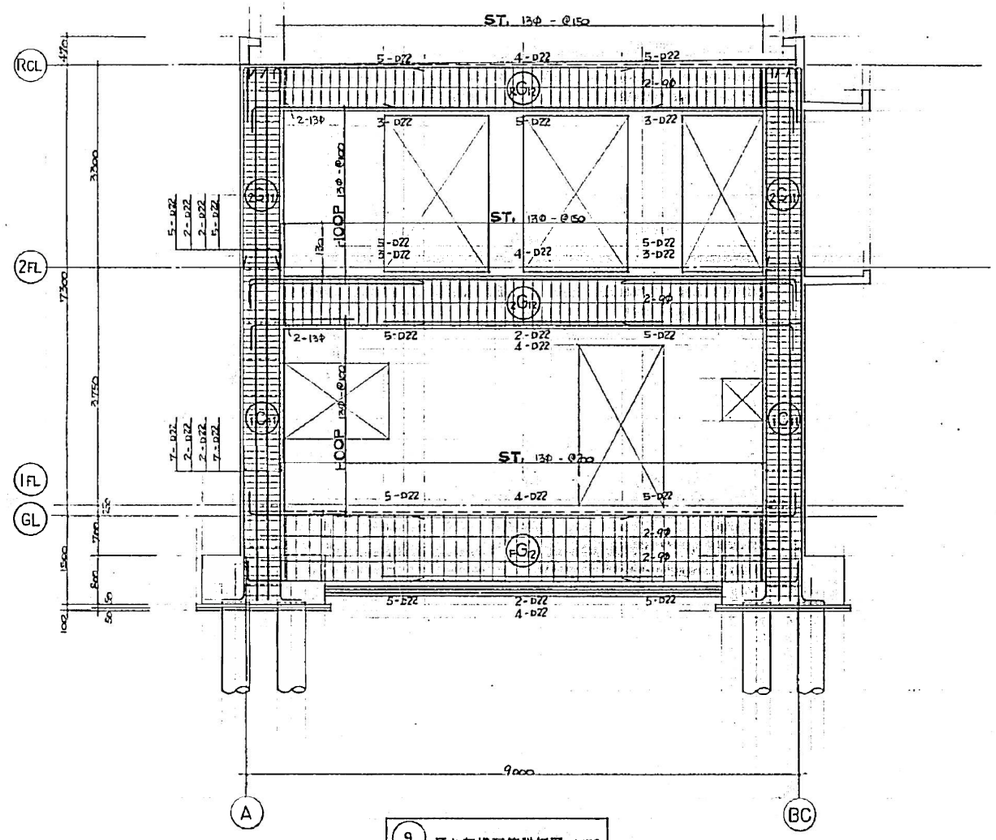


杭頭処理図 1/50

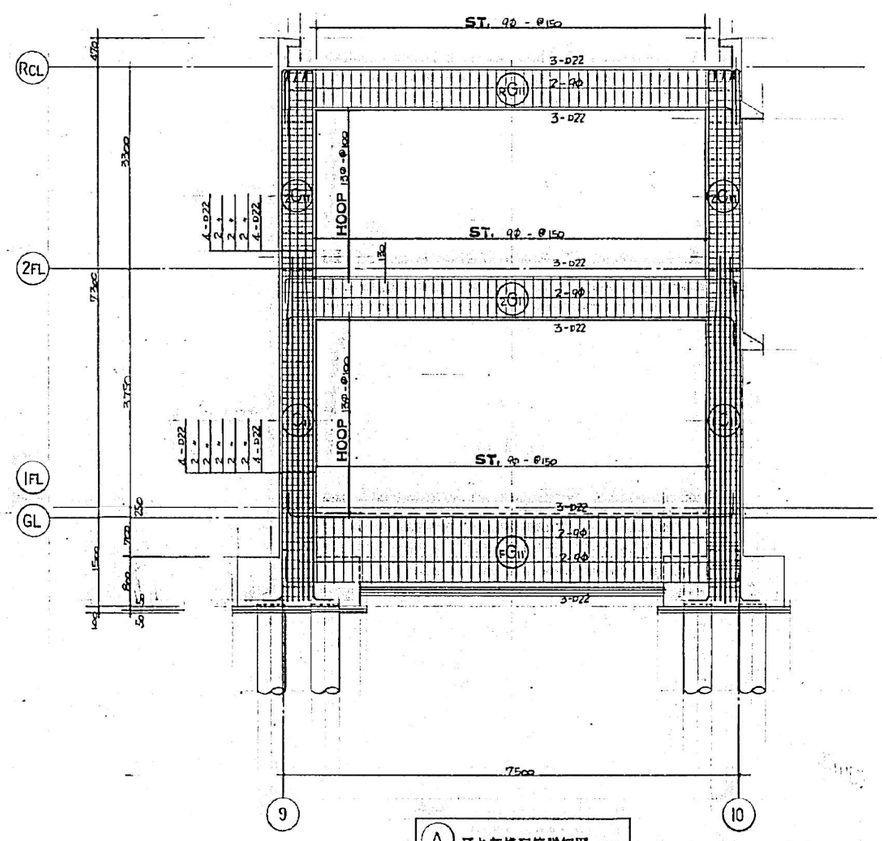
床版リスト

	T		短辺方向		長辺方向		柱列帯
			端部	中央	端部	中央	
S11A	150	上端筋	13φ - @150	――	9φ 13φ - @175	――	9φ - @250 クロス
		下端筋	13φ - @300	13φ - @150	9φ - @350	9φ 13φ - @175	9φ - @250 クロス
S12A	130	上端筋	13φ - @175	――	9φ 13φ - @200	――	9φ - @250 クロス
		下端筋	13φ - @350	13φ - @175	9φ - @400	9φ 13φ - @200	9φ - @250 クロス
S13A	130	上端筋	9φ 13φ - @150	9φ - @300	9φ - @175	9φ - @350	9φ - @250 クロス
		下端筋	9φ - @300	9φ 13φ - @150	9φ - @350	9φ - @175	9φ - @250 クロス

設計番号	設計者	東大阪市(仮称)心身障害児通園施設新築工事設計図	
図名	各リスト	縮尺 1/50 30	図面番号 C/25
共同設計株式会社			



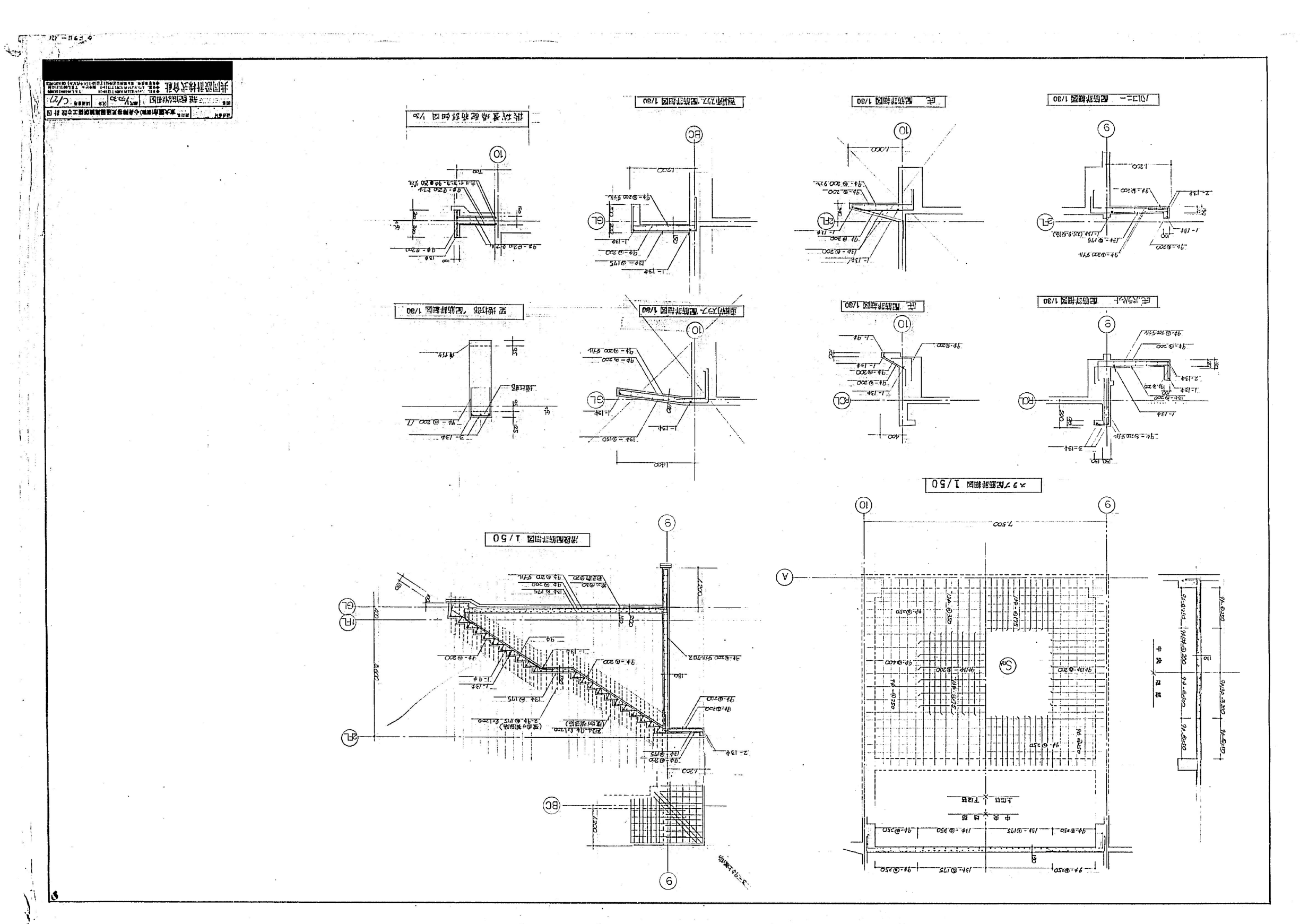
9 通り架構配筋詳細図 1/50 ※ D.HOOP 9φ - @100



A 通り架構配筋詳細図 1/60 ※ D.HOOP 9φ - @100

設計番号	設計名	東大国内(医科)心身障害児通園施設新築工事設計図		
図名	架構配筋詳細図	縮尺 1/50	図番	図面番号 C/26

共同設計株式會社


基礎配筋詳細図 1/50
A-7配筋詳細図 1/50
屋上配筋詳細図 1/30
E-E'配筋詳細図 1/30
F-F'配筋詳細図 1/30
G-G'配筋詳細図 1/30
H-H'配筋詳細図 1/30
I-I'配筋詳細図 1/30
J-J'配筋詳細図 1/30
K-K'配筋詳細図 1/30
梁上部配筋詳細図 1/30
共同設計株式会社